

高砂市
子育て支援に関するアンケート調査
結果速報

I. 調査の概要

1. 調査目的

子ども・子育て関連3法に基づく「子ども・子育て支援新制度」は、早ければ平成27年度からスタートすることとなった。そこで、本市では、平成26年度で終了する「高砂市次世代育成支援後期行動計画」を見直すとともに、新たな国の新制度に対応する「高砂市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとした。

この計画の策定に先立ち、就学前児童保護者及び小学生保護者に対しては各種子育て支援サービスの利用状況や希望を、また、高校生に対しては家庭や学校での生活や将来の希望等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査設計と回収結果

調査対象	就学前児童の保護者	小学生の保護者
調査対象	平成25年10月1日現在、市内に在住する就学前児童（0～5歳）の保護者	平成25年10月1日現在、市内に在住する小学校1年生から6年生の保護者
対象数	4,813人	5,263人
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出	
調査方法	幼稚園及び保育所に通っている場合は、幼稚園や保育所を通じて配布・回収。それ以外は郵送による配布・回収とし、途中でハガキによる督促状を送付	学校を通じて配布・回収
調査期間	平成25年11月5日（金） ～ 平成25年12月3日（火）	
調査票配布数	2,153件	1,025件
有効回収数	1,428件	821件
有効回収率	66.3%	80.1%

3. この報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%を前後することがある。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。なお、複数回答を求める質問についての図表上の表記は、以下のとおりである。

「MA%」(Multiple Answer)

=回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合

「2LA%」(2 Limited Answer)

=回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合

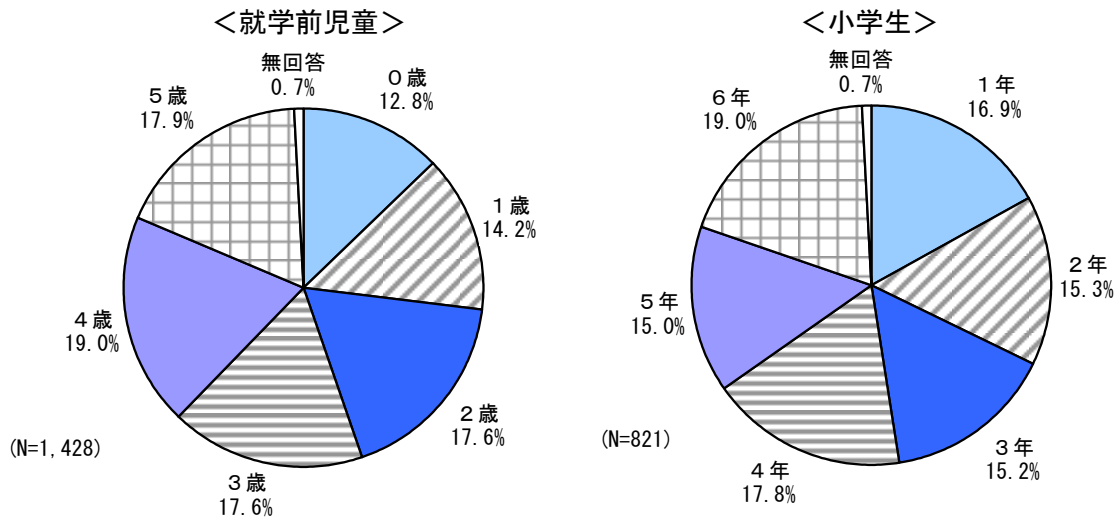
「3LA%」(3 Limited Answer)

=回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

- (3) 本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の文言を簡略化している場合がある。

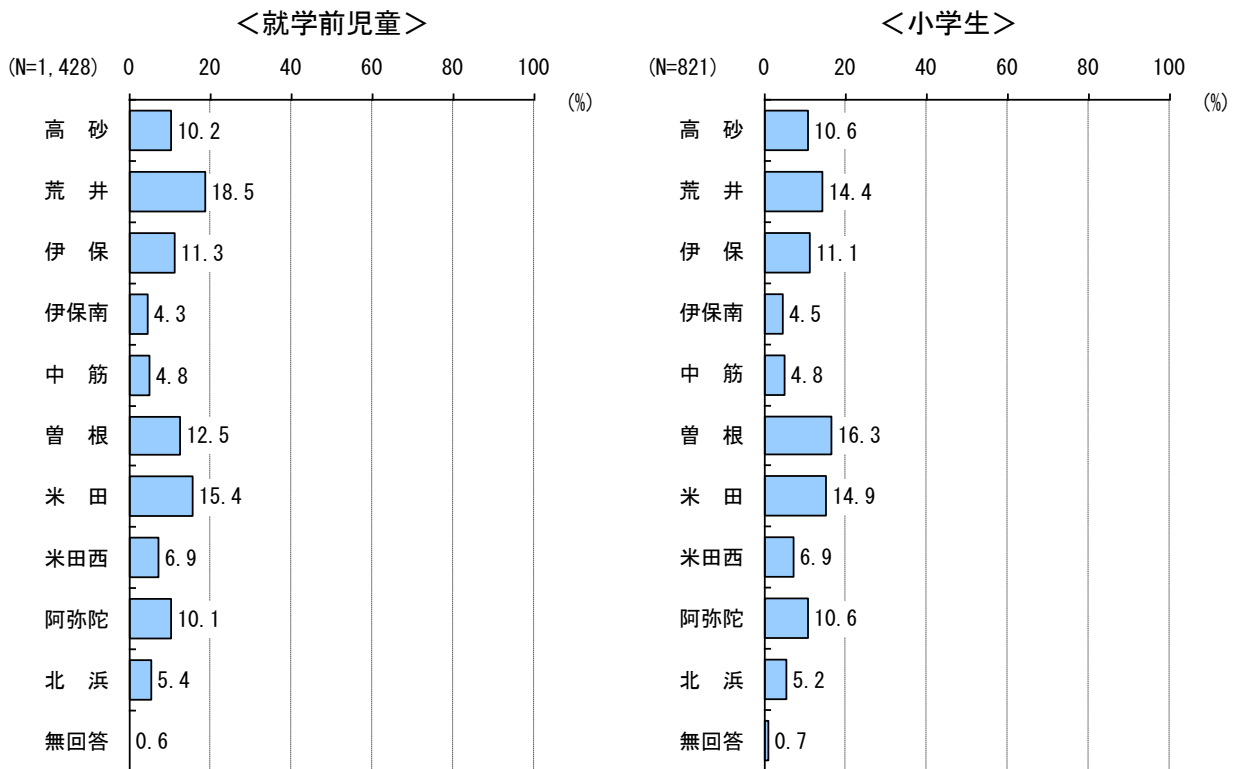
Ⅱ. 調査対象者の概要

(1) 対象児童の年齢・学年



※就学前児童の年齢は平成25年4月1日現在

(2) 対象児童の居住地区（小学校区）



Ⅲ. 就学前児童及び小学生の保護者調査の主な結果

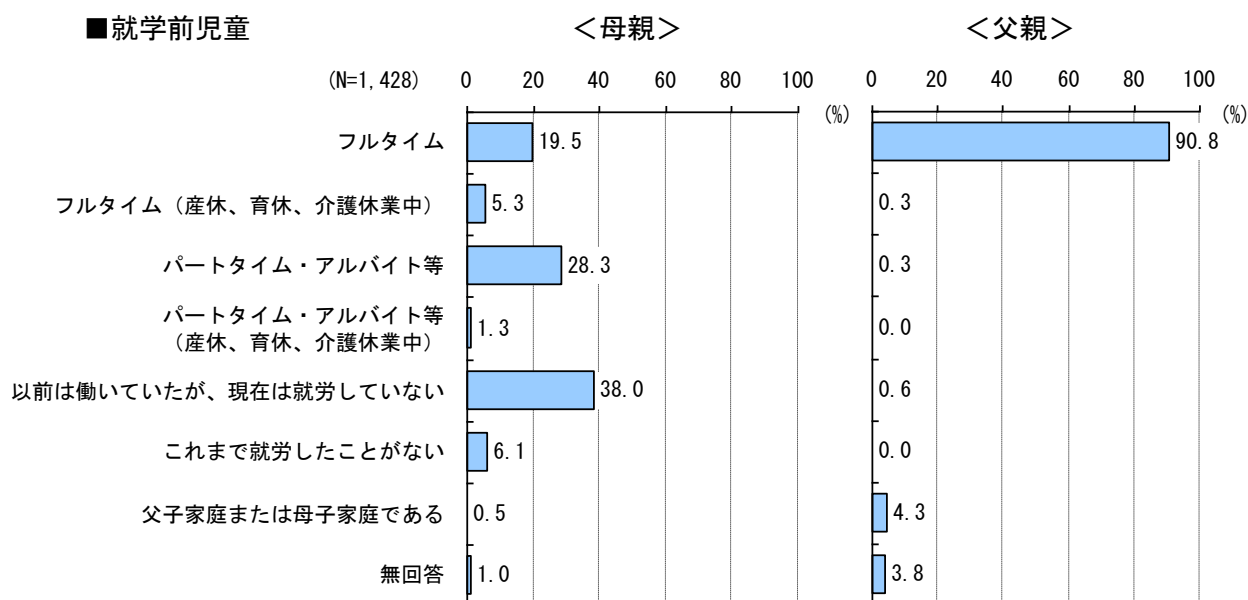
1 保護者の就労状況

(1) 父母の就労形態 (就学前：問7・小学生：問6)

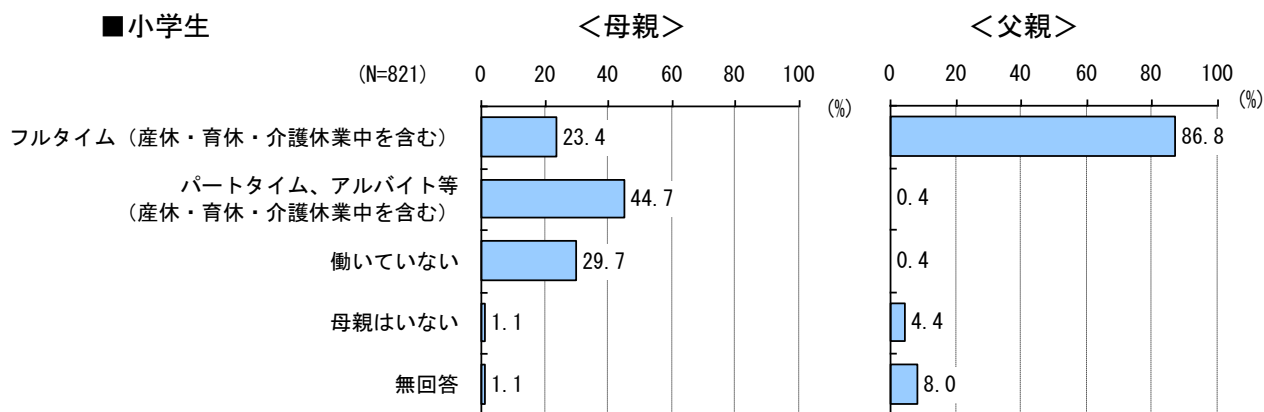
- 母親については、就学前児童では「以前は働いていたが、現在は就労していない」が38.0%で最も多く、小学生では「パートタイム・アルバイト等」が44.7%で最も多い。
- 就労（産休中・育休中含む）している母親は、就学前児童で54.4%、小学生で68.1%と、小学生の方が母親の就労率が高い。
- 父親については、大半が「フルタイム」で就労している。

【父母の就労形態】

■就学前児童



■小学生



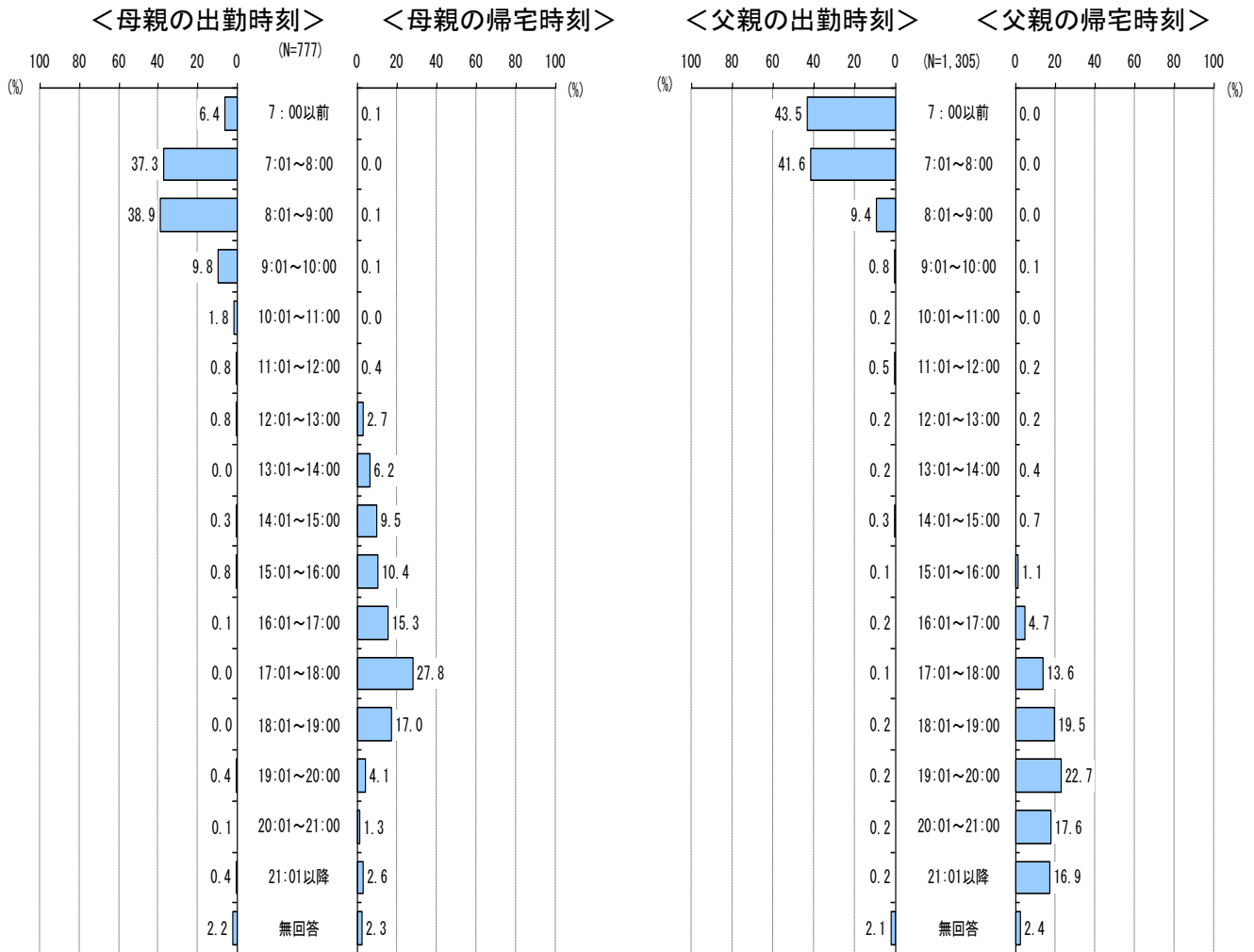
※「フルタイム」とは、働いている時間が1週5日程度・1日8時間程度の方

※「パートタイム」の表記にはアルバイト等を含み、働いている時間がフルタイムより短い方

(2) 父母の就労時間と出勤・帰宅時刻（就学前：問7・問8、小学生：なし）

- 出勤時刻（家を出る時刻）については、母親は「8：01～9：00」が38.9%で最も多く、僅差で「7：01～8：00」が続く。一方、父親は「7：00以前」が43.5%最も多く、僅差で「7：01～8：00」が続く。
- 帰宅時刻については、母親は「17：01～18：00」が27.8%で最も多く、父親は「19：01～20：00」が22.7%で最も多い。

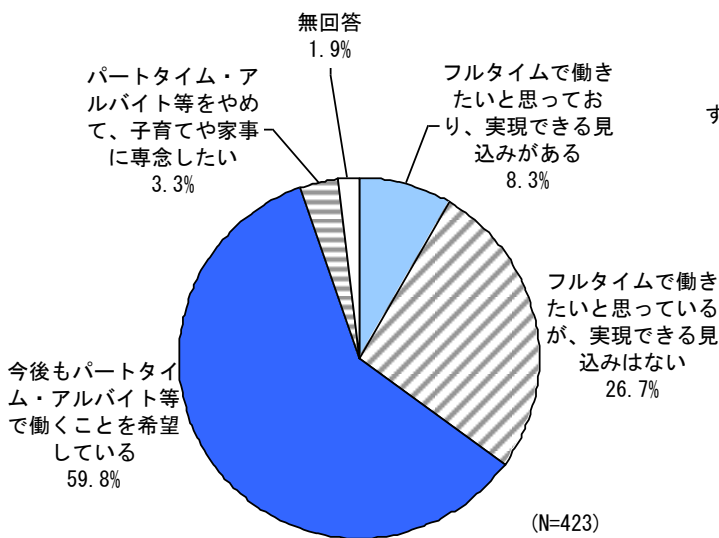
【就労している父母の出勤時刻・帰宅時刻】



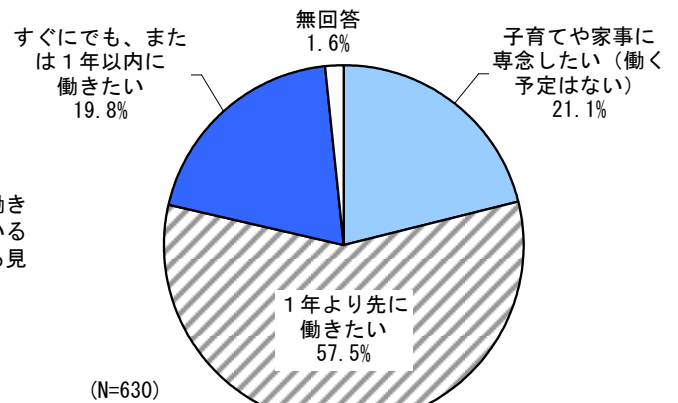
(3) 母親の今後の就労意向 (就学前：問 7-2, 3, 4・問 8-2, 3, 4)

- パート・アルバイト等就労の母親 (就学前のみ) についてフルタイムへの転換希望をみると、「今後もパートタイム・アルバイト等で働くことを希望している」が59.8%で最も多い。「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」は8.3%である。
- 未就労の母親 (就学前のみ) について今後の就労希望をみると、「1年より先に働きたい」が57.5%で最も多く、この層では末子が「7歳」になったら働きたいという人が26.2%と多い。
- 未就労の母親 (就学前のみ) のうち「すぐにでも、または1年以内に働きたい」は19.8%であり、就労形態では「パート・アルバイト」を希望する人が多い。

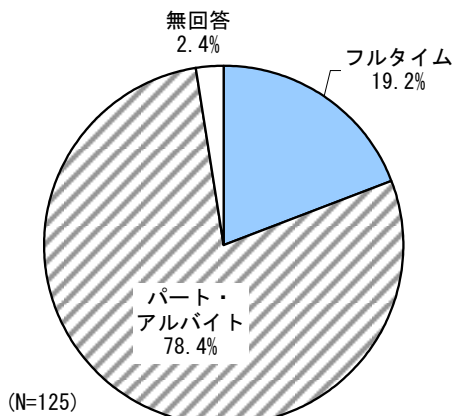
【パートタイム・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換意向 (母親)】



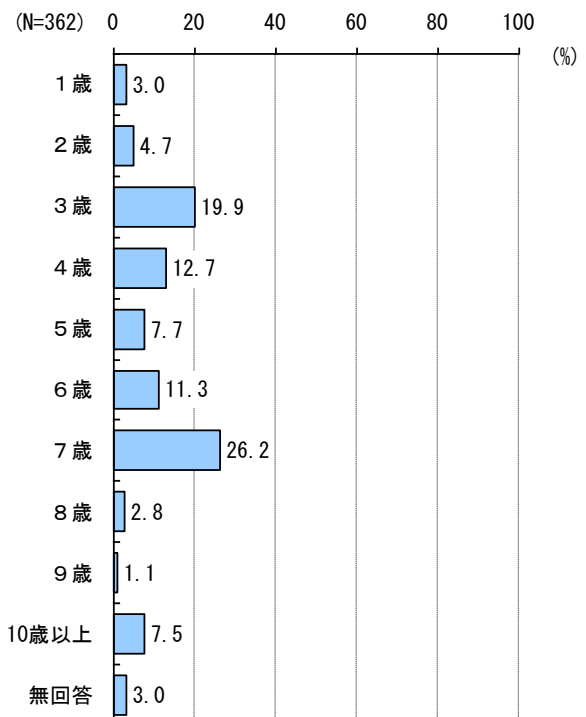
【未就労者の今後の就労意向 (母親)】



【すぐにでも、または1年以内に働きたい人が希望する就労形態 (母親)】



【1年より先に働きたい人が働きたいと思う末子年齢 (母親)】

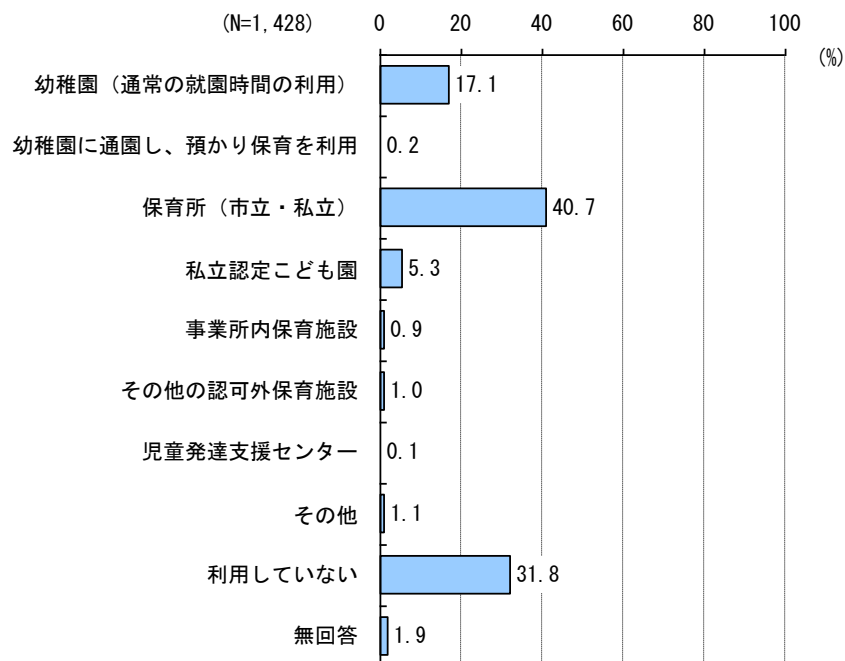


2 平日の定期的な教育・保育事業の利用について（就学前児童保護者のみ）

（1）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前：問9）

- 全体では66.3%が平日の定期的な教育・保育事業を利用している。
- 定期的にご利用している教育・保育事業については、「保育所（市立・私立）」が40.7%で最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が17.1%であり、この2つに集中している。
- 定期的な教育・保育事業の利用開始時期についてみると、幼稚園（通常の就園時間の利用）は「4歳児」が大半を占めている。保育所は「3歳～4歳未満」と「6か月～1歳未満」、私立認定こども園では「3歳～4歳未満」、事業所内保育施設では「1歳～1歳半未満」が多い。

【定期的にご利用している教育・保育事業（就学前児童保護者）】

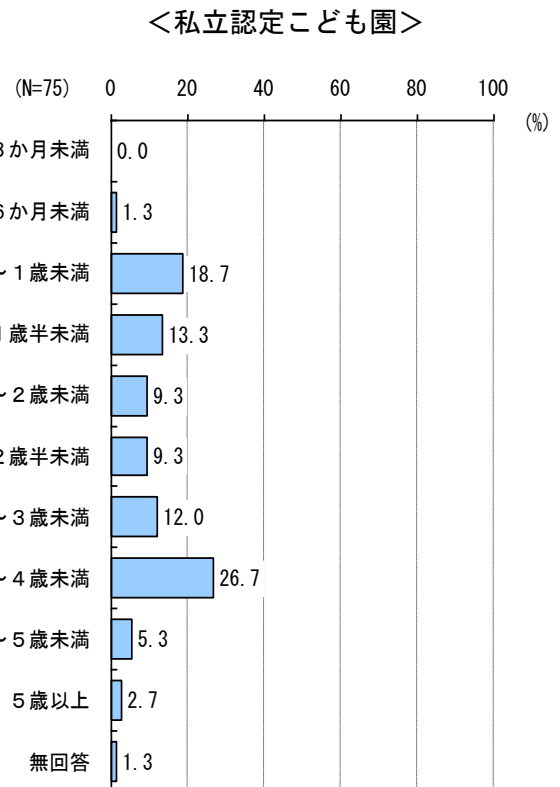
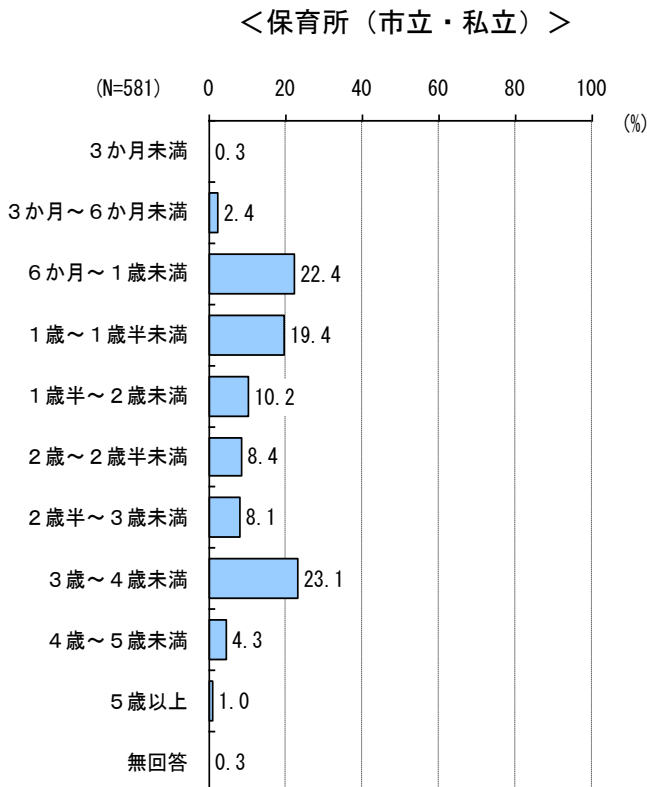
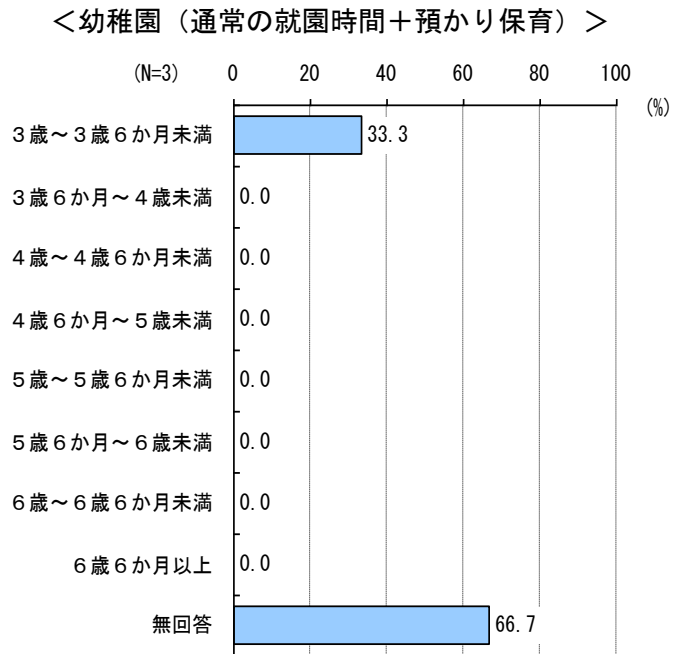
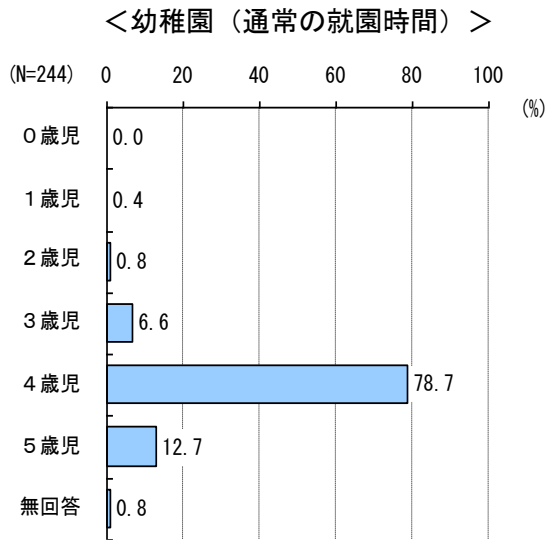


【年齢3区分別 教育・保育事業の利用率（就学前児童保護者）】

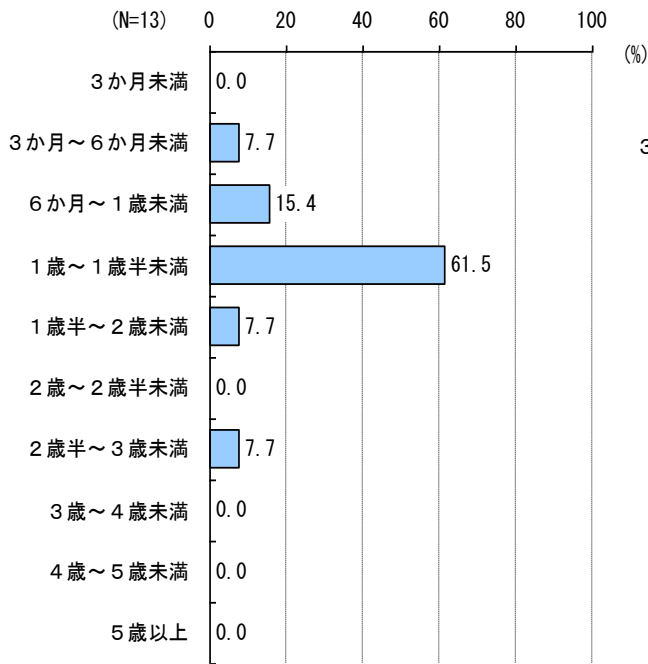
（単位：Nは人、他は%）

	N	幼稚園（通常の就園時間の利用）（市立・私立）	幼稚園（通常の就園時間＋預かり保育）	認可保育所（市立・私立）	私立認定こども園	事業所内保育施設	その他の認可外保育施設	児童発達支援センター	その他	利用していない	無回答
全体	1428	17.1	0.2	40.7	5.3	0.9	1.0	0.1	1.1	31.8	1.9
0歳児	183	0.5	0.5	15.3	2.7	3.3	-	-	1.1	72.1	4.4
1～2歳児	455	0.4	-	36.0	5.1	0.7	1.3	-	2.2	53.8	0.4
3～5歳児	780	30.4	0.3	49.6	6.0	0.5	1.0	0.1	0.5	9.7	1.8

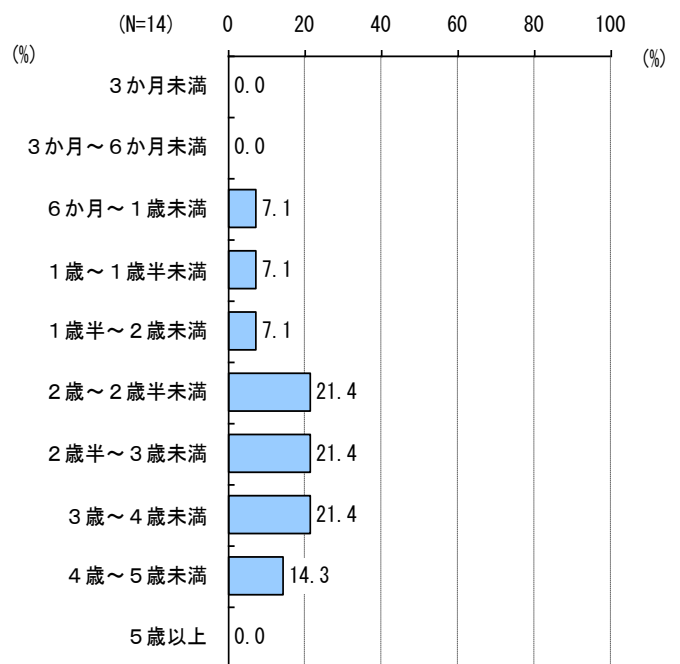
【平日の定期的な教育・保育事業の利用開始年齢（就学前児童保護者）】



<事業所内保育施設>



<その他の認可外保育施設>

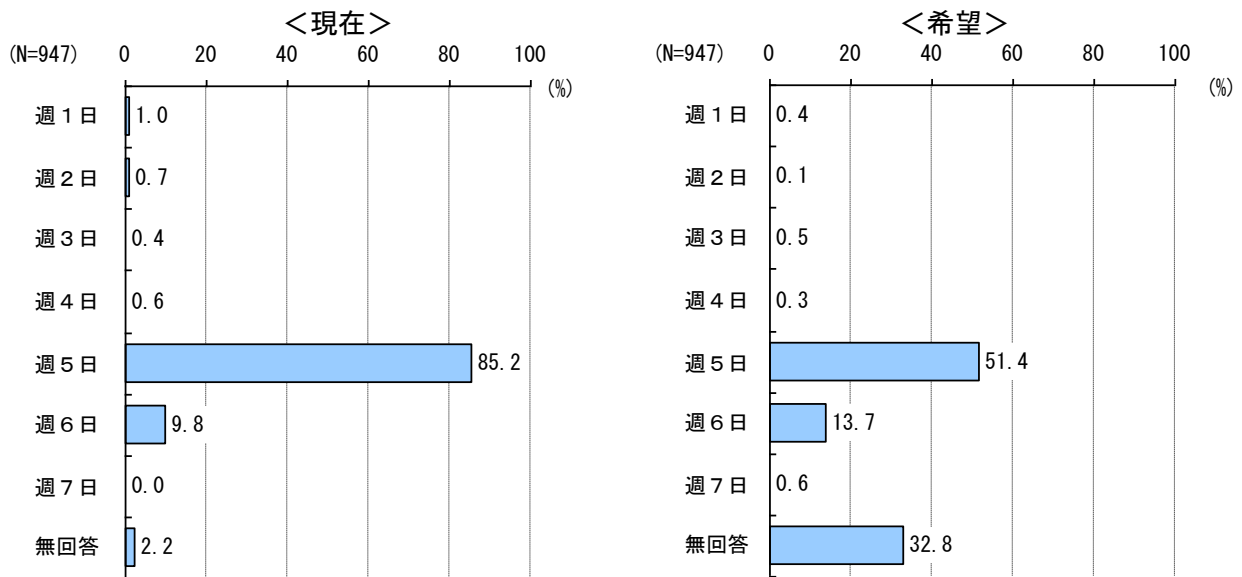


※「児童発達支援センター」利用者は1名で、3歳児から利用開始している（グラフ割愛）

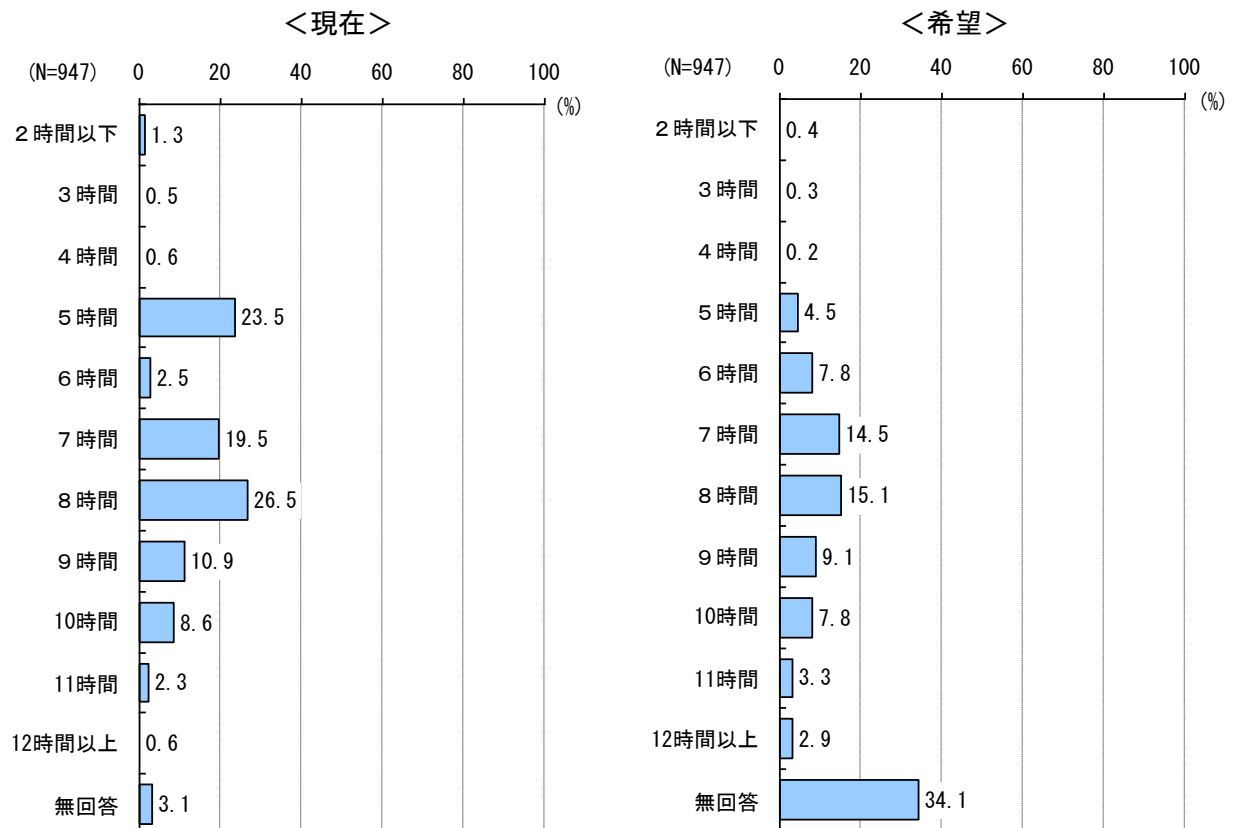
- 平日の定期的な教育・保育事業の利用日数は、「週5日」が85.2%と大半を占めている。
- 平日の定期的な教育・保育事業の利用時間は、「8時間」が26.5%で最も多く、次いで「5時間」が23.5%となっている。
- 平日の定期的な教育・保育事業の利用時間帯については、開始時刻は「9時」、終了時刻は「16時」が多い。

※希望については、現在と比べて「無回答」の割合が高いため、コメントを省略する

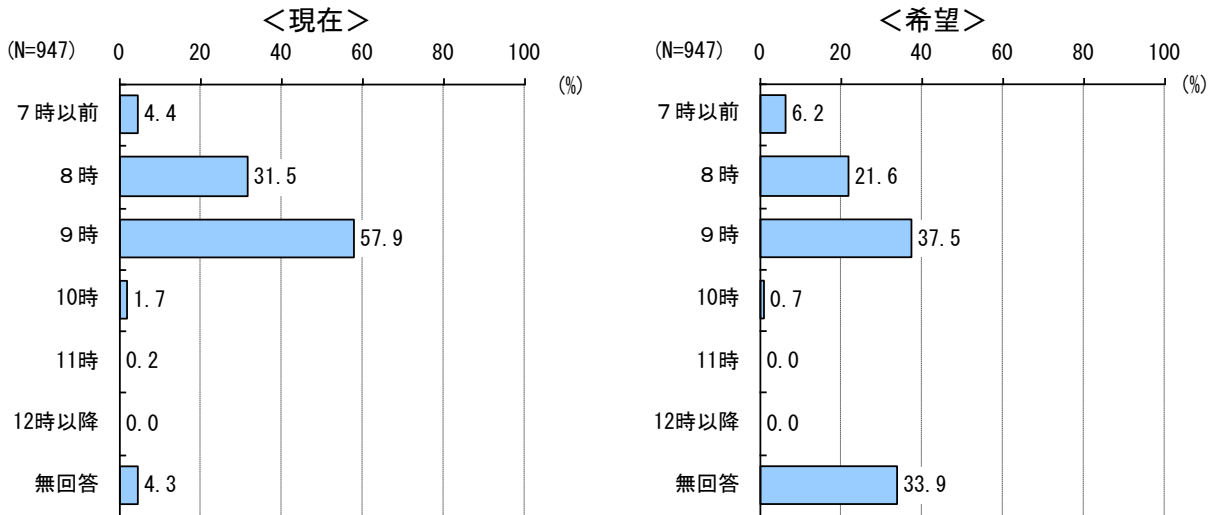
【平日の定期的な教育・保育事業の利用日数（就学前児童保護者）】



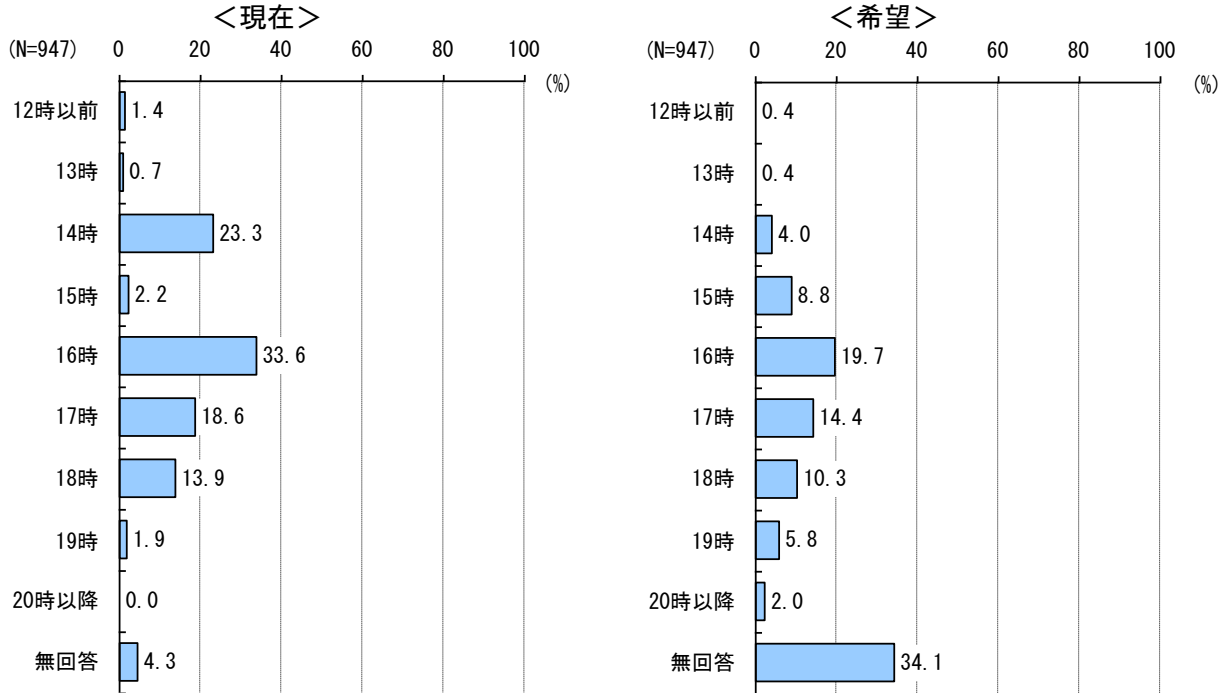
【平日の定期的な教育・保育事業の利用時間（就学前児童保護者）】



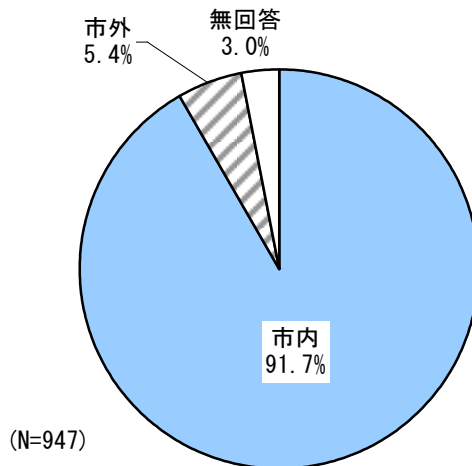
【平日の定期的な教育・保育事業の利用開始時刻（就学前児童保護者）】



【平日の定期的な教育・保育事業の利用終了時刻（就学前児童保護者）】



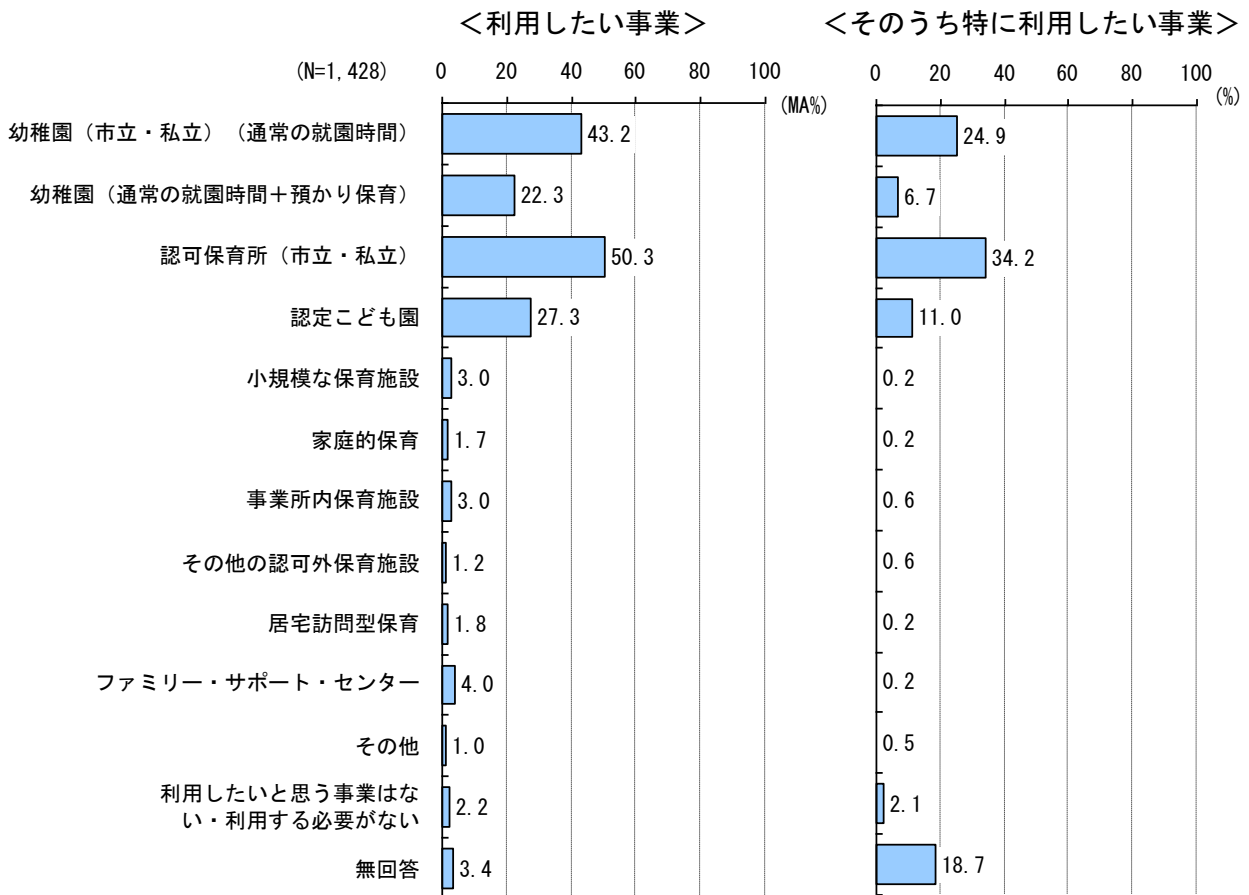
【定期的に利用している教育・保育事業の実施場所（就学前児童保護者）】



(2) 今後利用したい定期的な教育・保育事業（就学前：問10）

- 今後利用したい教育・保育事業については、「認可保育所（市立・私立）」が50.3%で最も多く、次いで「幼稚園（市立・私立）（通常の就園時間）」が43.2%となっている。
- 年齢3区分で見ると、年齢にかかわらず「認可保育所」が最も多くなっている。また、0歳でも「利用したいと思う事業はない・利用する必要はない」はごく少数であり、何らかの事業を利用したい意向をもっている。

【今後、定期的にご利用したい教育・保育事業（就学前）】



【年齢3区分別 今後、特に利用したい教育・保育事業 (MA)】

(単位：Nは人、他は%)

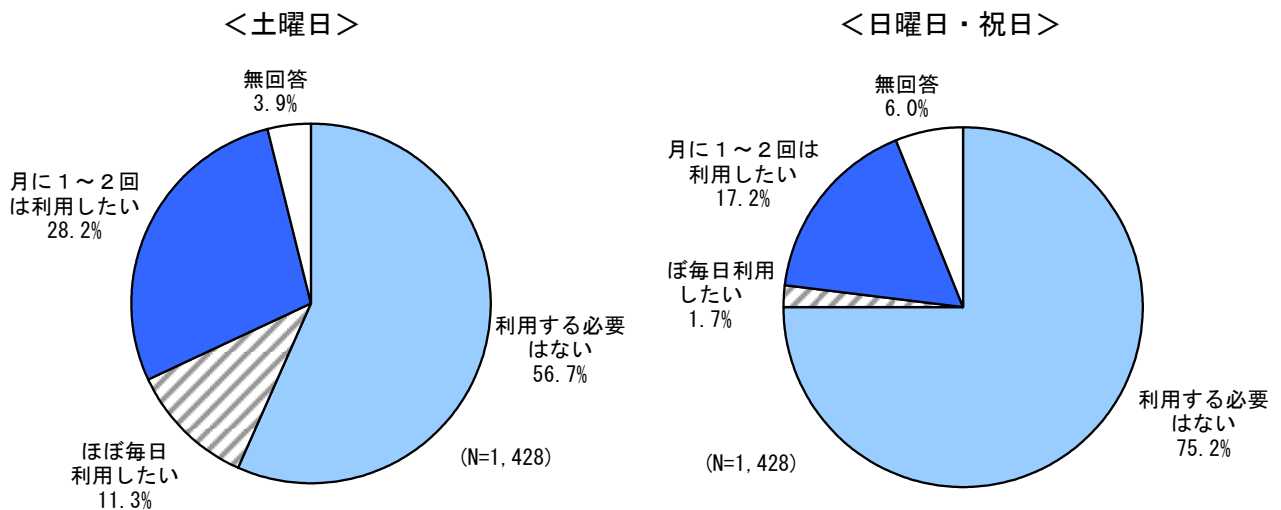
	N	幼稚園（市立・私立）（通常の就園時間）	幼稚園（通常の就園時間+預かり保育）	認可保育所（市立・私立）	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	利用したいと思う事業はない・利用する必要はない	無回答
全体	1428	43.2	22.3	50.3	27.3	3.0	1.7	3.0	1.2	1.8	4.0	1.0	2.2	3.4
0歳児	183	46.4	21.9	52.5	27.3	7.1	1.6	6.6	0.5	0.5	3.3	1.1	2.2	3.3
1～2歳児	455	38.9	21.1	56.9	33.2	2.6	2.0	2.9	1.5	2.2	3.5	1.1	2.2	3.3
3～5歳児	780	44.7	22.9	46.2	24.0	2.3	1.5	2.3	1.2	1.8	4.5	0.9	2.3	3.2

(3) 土曜日・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

(就学前：問 11・問 12)

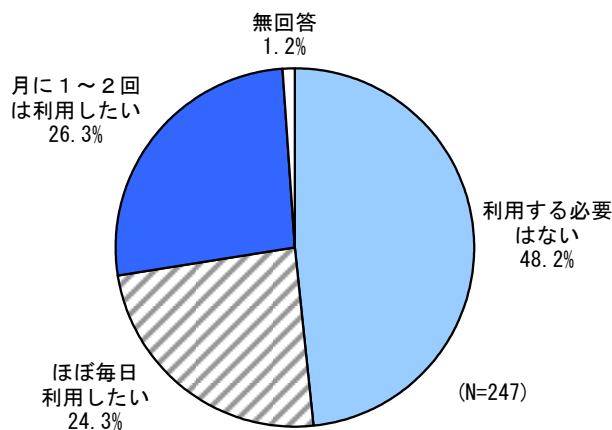
- 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用については、「利用する必要はない」が最も多い。「ほぼ毎日利用したい」「月1～2回利用したい」を合わせた何らかの利用希望があるのは、土曜日39.5%、日曜日・祝日18.9%である。
- 幼稚園利用者について、夏休み・冬休みなどの長期休業中の利用意向をみると、「利用する必要はない」が48.2%で最も多くなっている。
- 土曜日の利用希望者の希望時間については、開始は「8時」と「9時」、終了は「16時」「17時」「18時」が多い。
- 日曜日の利用希望者の希望時間については、開始は「8時」と「9時」、終了は「17時」と「18時」が多い。
- 長期休業中の幼稚園利用希望者の希望時間については、開始は「9時」、終了は「14時」が多い。

【定期的な教育・保育事業の利用希望（就学前）】

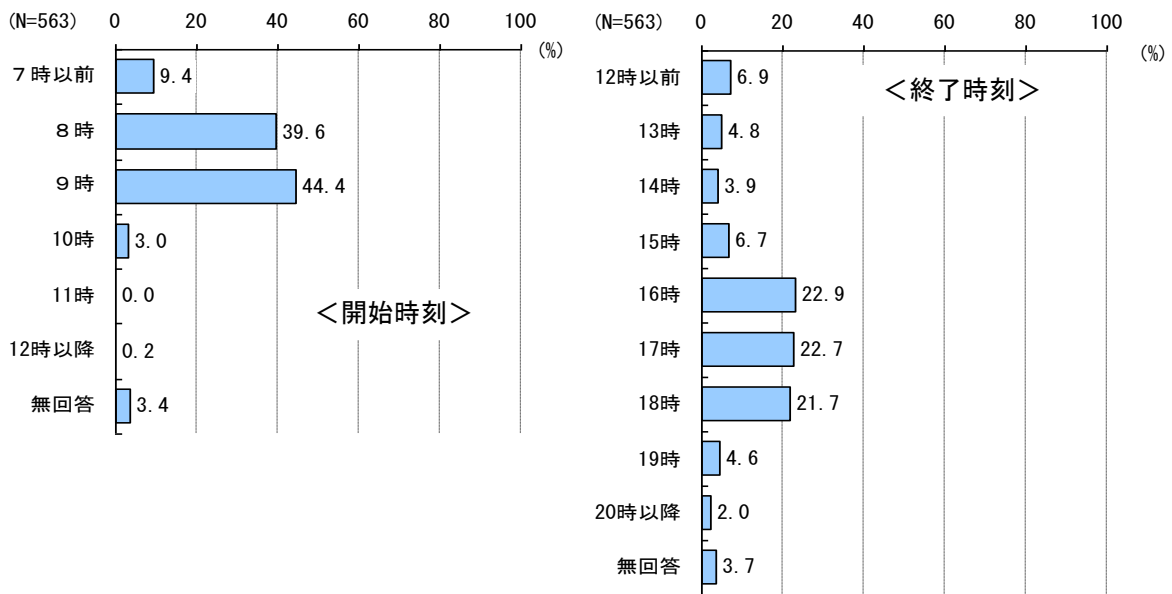


【夏休み・冬休み等長期休業中の幼稚園の利用】

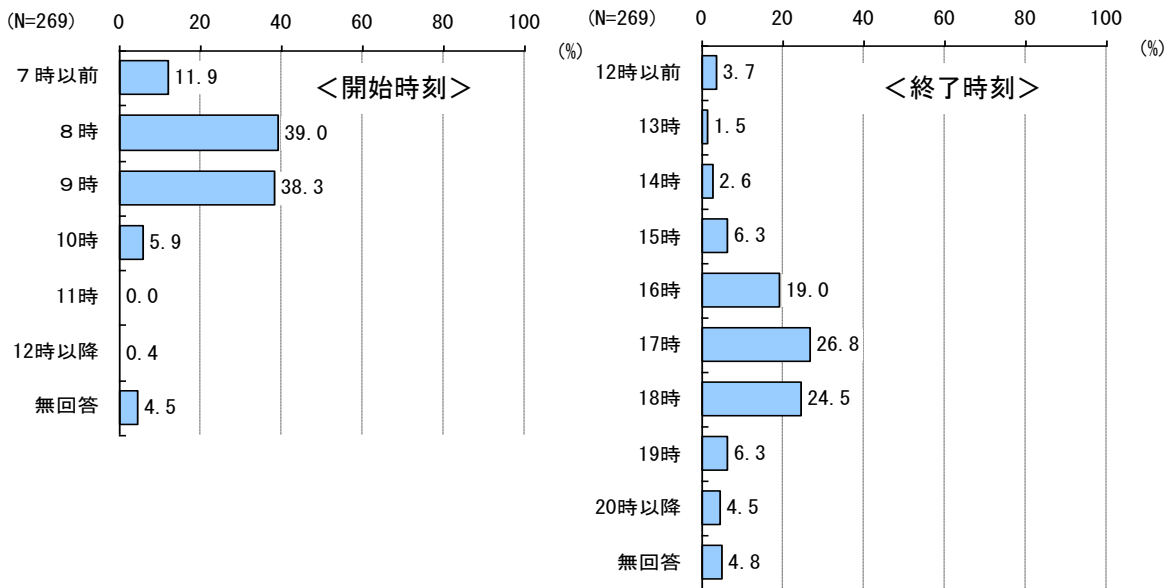
(問 9 で幼稚園を利用していると回答した人のみ)



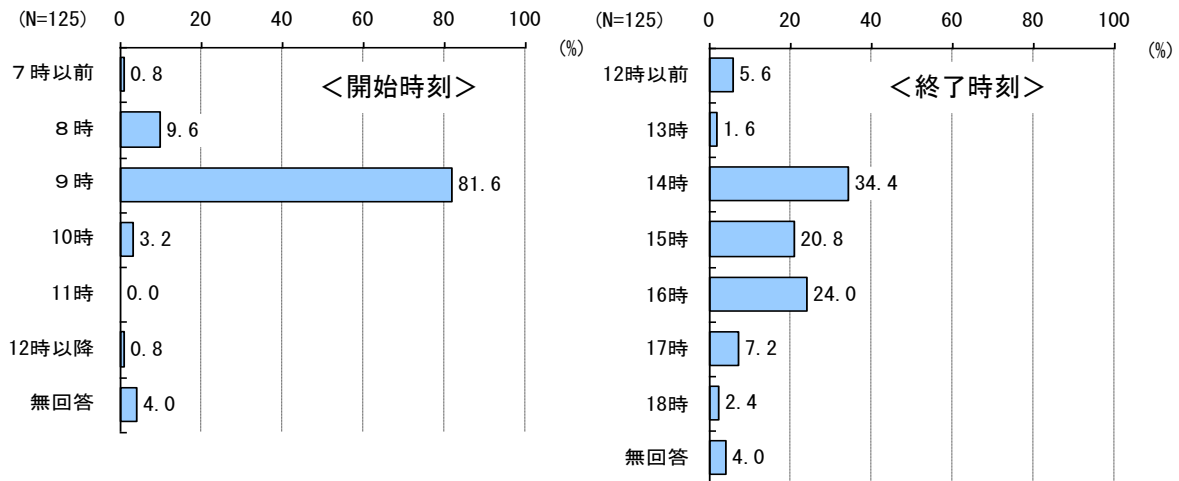
【土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望時間（就学前）】



【日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望間（就学前）】



【長期休業中の幼稚園の利用希望間（就学前）】

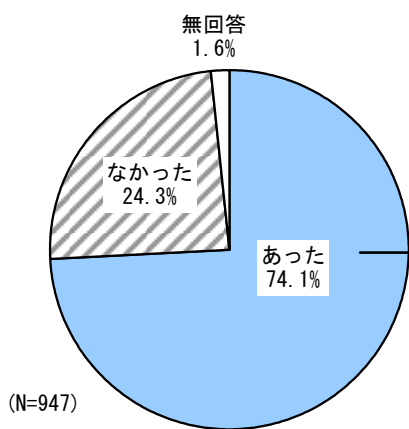


3 子どもの病気の際の対応について

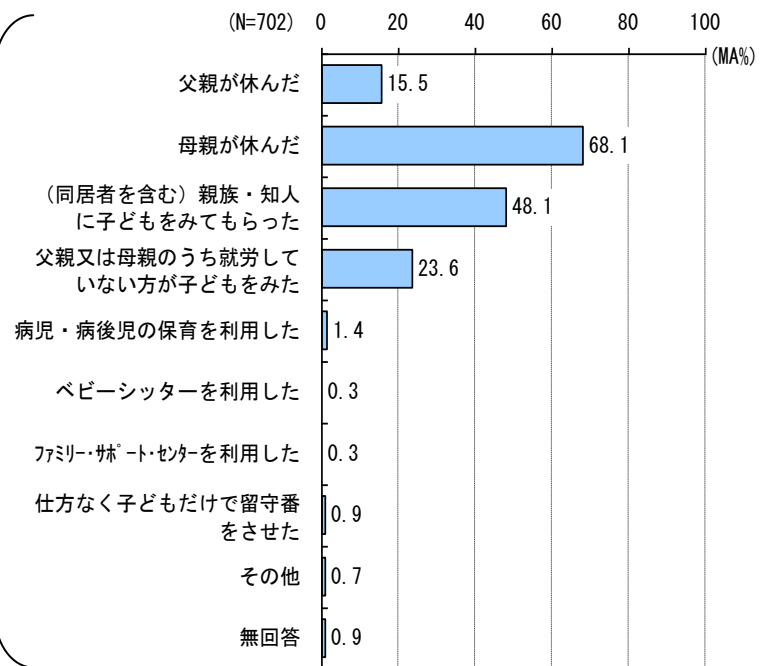
(1) 就学前児童の病気の際の対応（就学前：問13・問13-1・問13-2）

- 平日の定期的な教育・保育事業を利用している就学前児童について、病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」のは74.1%となっている。
- その場合の対処方法としては、「母親が休んだ」が68.1%で最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が48.1%となっている。

【子どもが病気等で通常の教育・保育事業が利用できなかったこと（就学前児童保護者）】



【子どもが病気の際の対応（就学前児童保護者）】



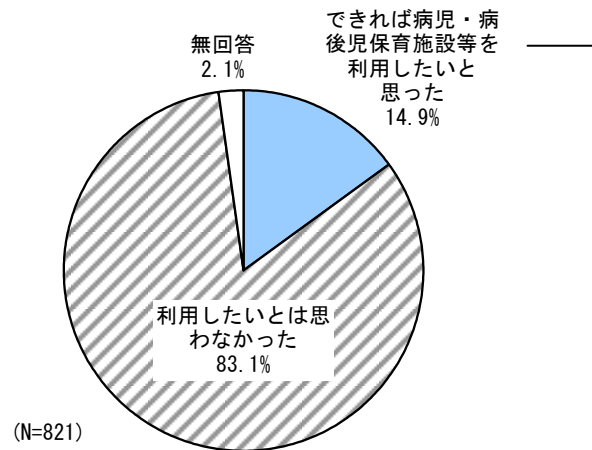
【対応方法別子どもが病気等で通常の教育・保育事業を利用できなかった日数（就学前児童保護者）】
(単位：Nは人、他は%)

	N	年1日	年2日	年3日	年4日	年5日	年6日	年7日	年8日	年9日	年10日	年11日	年12日以上	無回答	平均(日)
父親が休んだ	109	20.2	22.9	18.3	3.7	15.6	2.8	1.8	1.8	-	3.7	-	2.8	6.4	3.7
母親が休んだ	478	6.9	12.1	12.1	4.0	17.6	2.5	4.4	1.3	-	14.6	-	15.1	9.4	7.4
(同居を含む)親族・知人にみてもらった	338	5.9	13.3	12.7	2.4	19.8	0.9	5.6	0.6	-	17.8	-	11.2	9.8	7.2
父親又は母親のうち就労していない方がみた	166	7.2	10.2	15.1	4.2	13.3	1.8	6.6	3.6	-	20.5	-	10.8	6.6	7.1
病児・病後児の保育を利用した	10	10.0	40.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-	10.0	10.0	-	-	-	4.2
ベビーシッターを利用した	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.5
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	6	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	3.2
その他	5	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	40.0	-	-	20.0	7.8

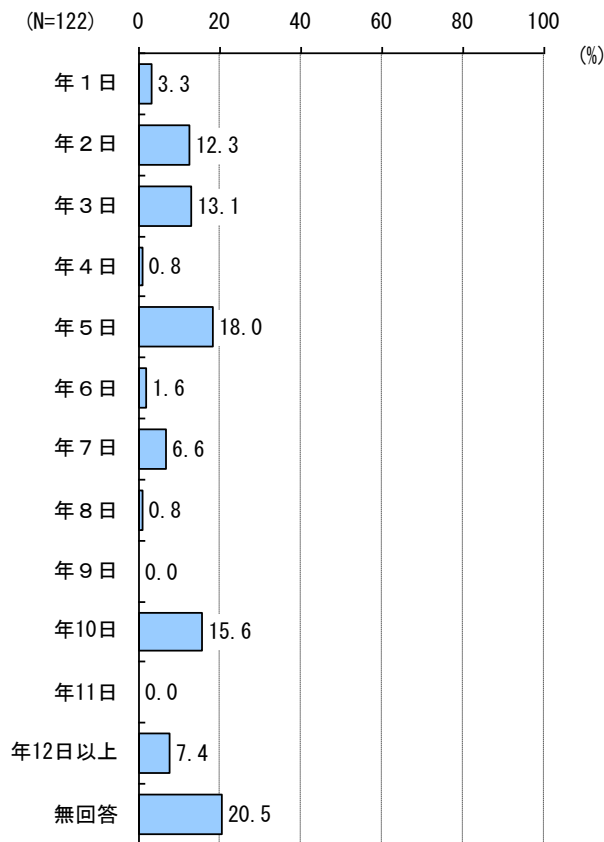
(2) 小学生の病気の際の対応 (小学生：問7)

● 小学生については、病気やケガで学校を休まなければならなかった時に「病児・病後児保育施設を利用したいと思った」のは14.9%であり、利用希望日数は分散しており、平均で「年7.5日」となっている。

【病児・病後児施設の利用 (小学生保護者)】



【利用したいと思った日数 (小学生)】



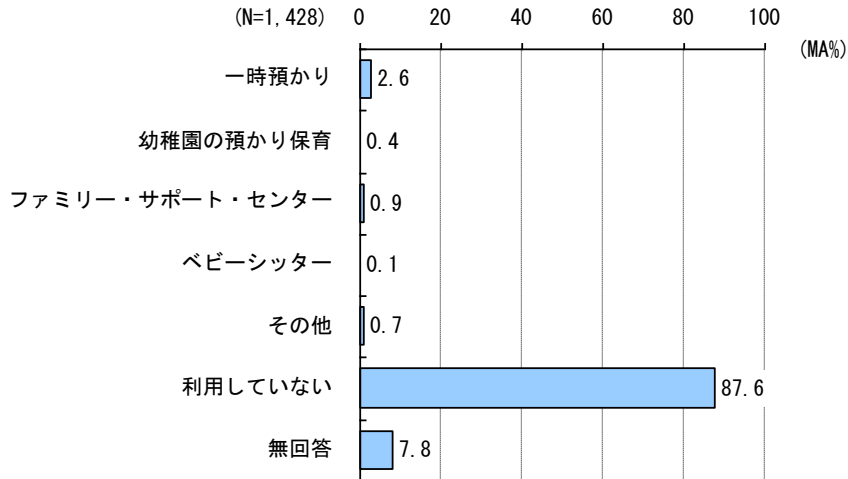
平均：年7.5日

4 不特定の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 就学前児童保護者が不定期的に利用している事業（就学前：問14）

- 私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業については、「利用していない」が87.6%と多数を占めている。「一時預かり」は2.6%（平均年19.5日）の利用がみられる。

【不定期的に利用している事業（就学前児童保護者）】



【事業別 年間利用日数（就学前）】

(単位：Nは人、他は%)

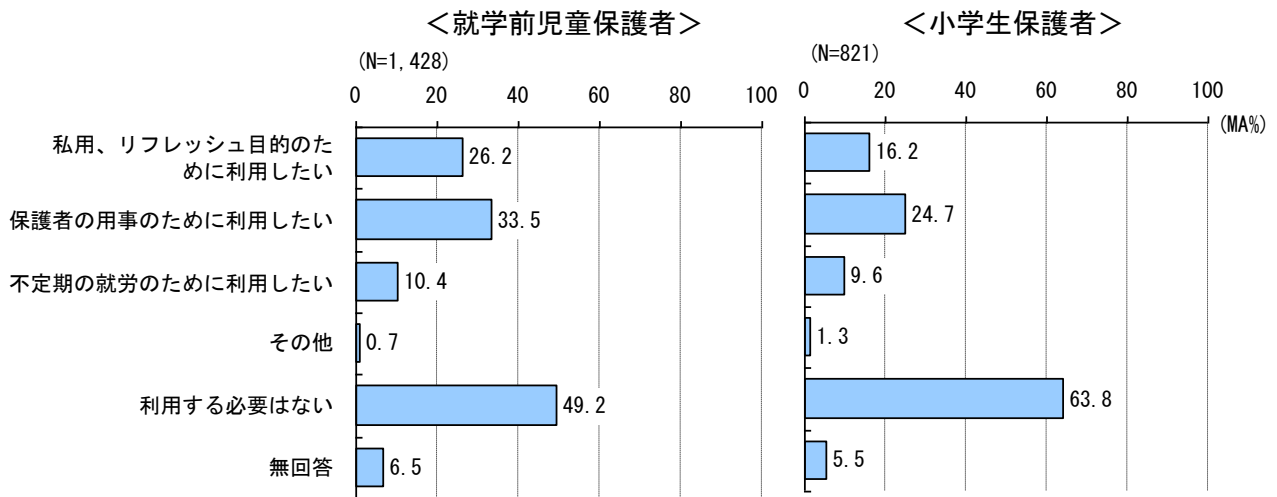
	N	年4日以内	年5日～8日	年9日～12日	年13日～18日	年19日～24日	年25日～30日	年31日～36日	年37日以上	無回答	平均(日)
一時預かり	37	29.7	21.6	13.5	-	5.4	5.4	2.7	10.8	10.8	19.5
幼稚園の預かり保育	6	16.7	16.7	16.7	-	-	16.7	-	33.3	-	91.2

	N	年1日	年2日	年3日	年4日	年5日	年6日	年7日	年8日	年9日	年10日	年11日	年12日以上	無回答	平均(日)
ファミリー・サポート・センター	13	30.8	15.4	-	-	7.7	-	-	-	-	15.4	-	23.1	7.7	12.8
ベビーシッター	2	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0
その他	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	80	10	38.0

(2) 目的別一時的な事業の利用希望 (就学前：問 15、小学生 8)

- 年に一時的な教育・保育事業を何日くらい利用する必要があるかを就学前児童保護者についてみると、「利用する必要はない」が49.2%と多い。「保護者の用事のために利用したい」は33.5% (平均年10.3日)、「私用、リフレッシュ目的のために利用したい」は33.5% (平均年16.4日) みられる。
- 小学生保護者については、「利用する必要はない」が63.8%と多い。

【一時的な事業の利用希望】



【利用目的別一時的な事業の利用希望日数】

(単位：Nは人、他は%)

<就学前児童>

	全 体	年4日以内	年5日～8日	年9日～12日	年13日～18日	年19日～24日	年25日～30日	年31日～36日	年37日以上	無回答	平均(日)
私用、リフレッシュ目的	374	10.4	16.0	40.6	1.9	11.0	3.5	1.9	7.5	7.2	16.4
保護者の用事	479	15.2	24.6	38.6	1.7	5.0	2.9	0.4	2.3	9.2	10.3
不定期の就労	148	8.1	7.4	21.6	0.7	11.5	8.8	0.7	22.3	18.9	35.7
その他	10	30.0	-	10.0	-	-	-	-	30.0	30.0	94.1

<小学生>

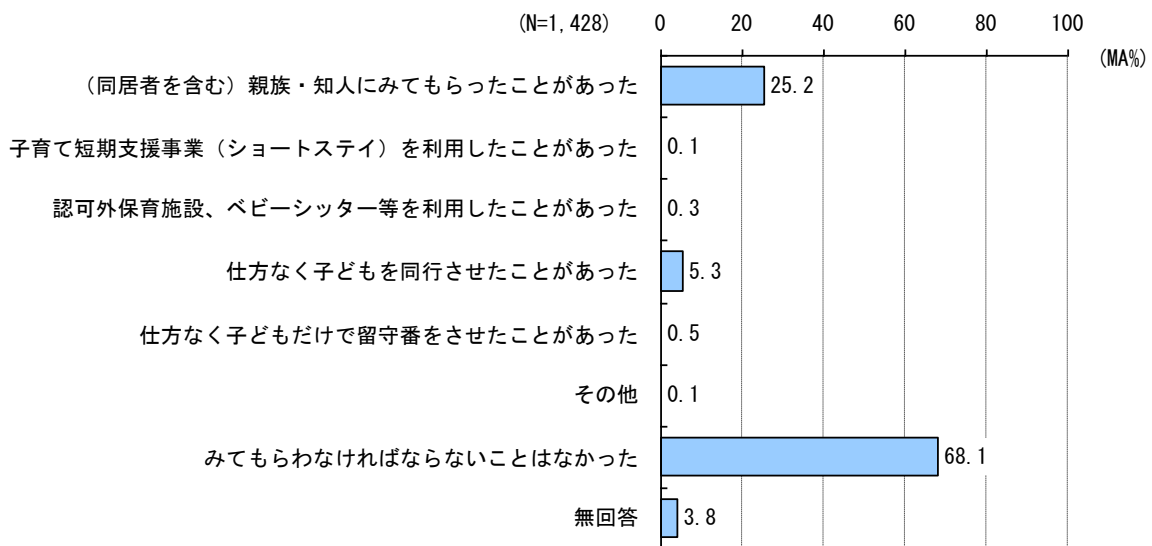
	全 体	年4日以内	年5日～8日	年9日～12日	年13日～18日	年19日～24日	年25日～30日	年31日～36日	年37日以上	無回答	平均(日)
私用、リフレッシュ目的	133	16.5	21.8	30.8	1.5	9.8	3.0	-	11.3	5.3	17.8
保護者の用事	203	24.6	22.7	32.5	1.0	3.9	3.0	-	5.4	6.9	12.0
不定期の就労	79	6.3	13.9	25.3	2.5	8.9	3.8	-	26.6	12.7	44.2
その他	11	9.1	27.3	9.1	-	-	-	-	27.3	27.3	81.9

(3) 宿泊を伴う預かりの状況（就学前：問16、小学生：問9）

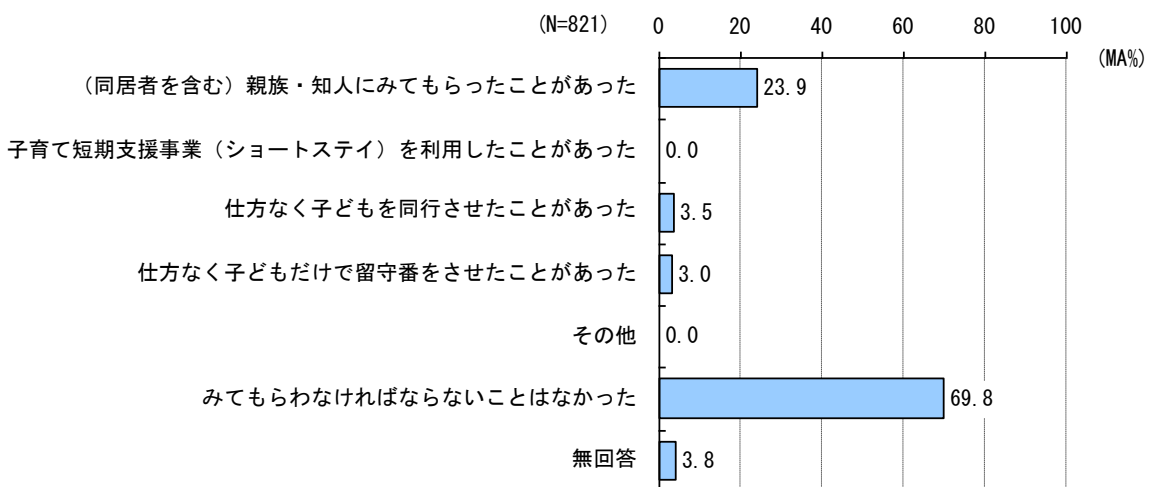
- この1年間に泊りがけで家族以外に子どもをみてもらわなければならなかったことがあるのは、就学前児童で28.1%、小学生で26.4%となっている。（100%から「みてもらわなければならなかったことはなかった」と「無回答」を引いた割合）
- その際の対処方法としては、就学前児童・小学生ともに「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が多い。
- この1年間に泊りがけで家族以外に子どもをみてもらわなければならなかった日数は、就学前児童・小学生ともに「年1日」が最も多いが、平均では就学前児童が「年7.4日」、小学生が「年4.9日」となっている。

【この1年間に泊りがけで家族以外に子どもをみてもらわなければならなかったこと】

<就学前児童保護者>



<小学生保護者>



【泊りがけで子どもを預けなければならなかった日数】

(単位：Nは人、他は%)

<就学前>

	N	年1日	年2日	年3日	年4日	年5日	年6日	年7日	年8日	年9日	年10日	年11日	年12日以上	無回答	平均(日)
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	360	10.8	13.6	10.8	3.9	13.9	3.3	6.1	0.8	0.6	13.3	-	16.1	6.7	12.1
子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	5.0
認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	4	-	75.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8
仕方なく子どもを同行させた	76	18.4	19.7	14.5	3.9	21.1	-	-	-	-	5.3	-	6.6	10.5	7.3
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	7	14.3	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-	-	14.3	-	14.3	14.3	23.7
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	35.0

<小学生>

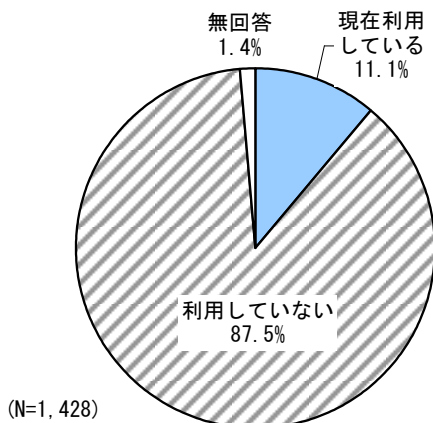
	N	年1日	年2日	年3日	年4日	年5日	年6日	年7日	年8日	年9日	年10日	年11日	年12日以上	無回答	平均(日)
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	196	19.4	16.8	13.8	3.6	9.7	3.6	5.6	0.5	1.0	8.2	-	11.7	6.1	8.2
子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	29	34.5	24.1	13.8	3.4	-	3.4	-	3.4	-	-	-	3.4	13.8	3.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	25	24.0	8.0	4.0	4.0	8.0	-	-	-	-	4.0	-	28.0	20.0	13.3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

5 地域の子育て支援事業の利用について（就学前児童保護者のみ）

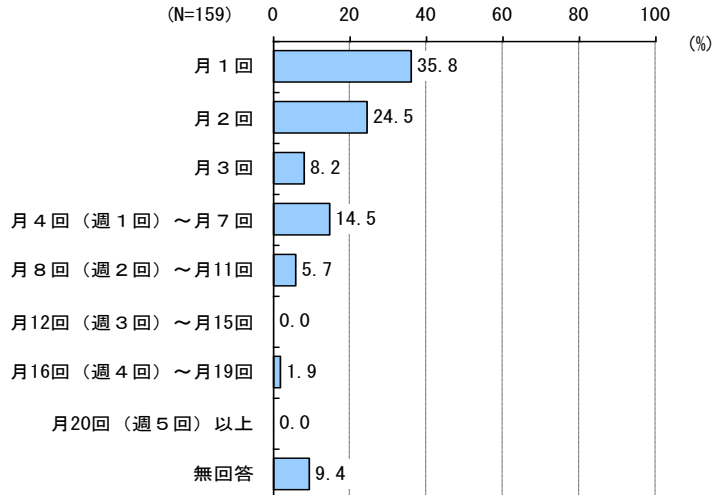
（1）地域の子育て支援事業の利用状況・利用希望（就学前：問17・問18）

- 地域の子育て支援事業の利用状況については、「利用していない」が87.5%と多い。
- 今後の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が66.0%と多い。

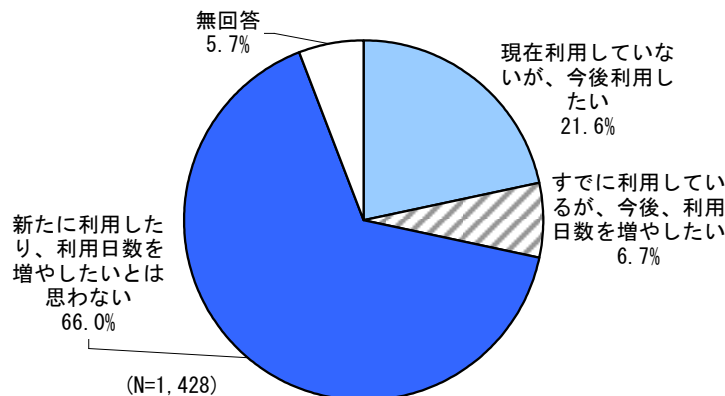
【地域の子育て支援事業の利用有無（就学前）】



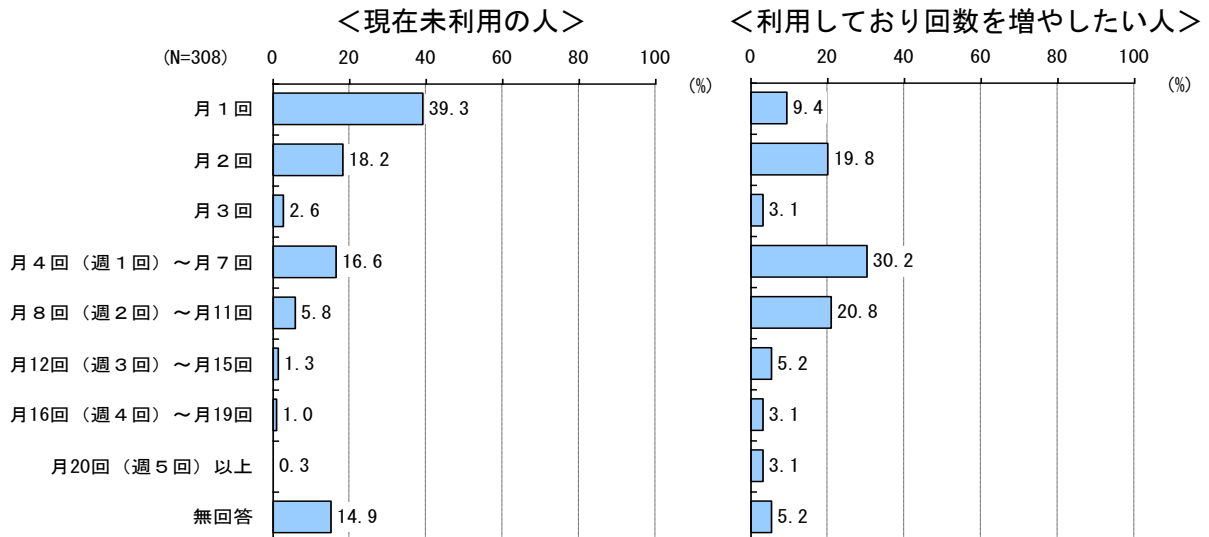
【地域の子育て支援事業の利用日数（就学前）】



【地域子育て支援事業の利用希望（就学前）】

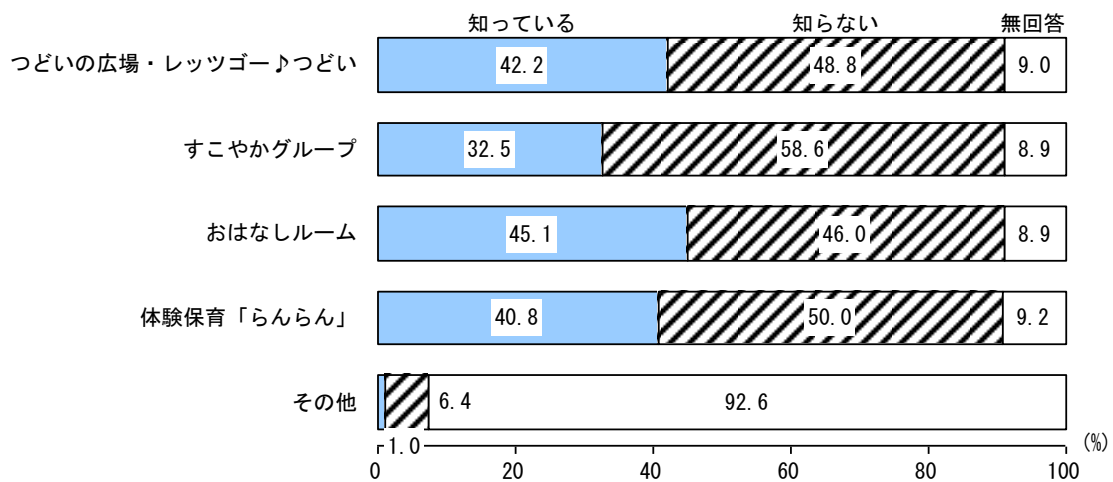


【地域子育て支援事業の利用希望日数（就学前）】

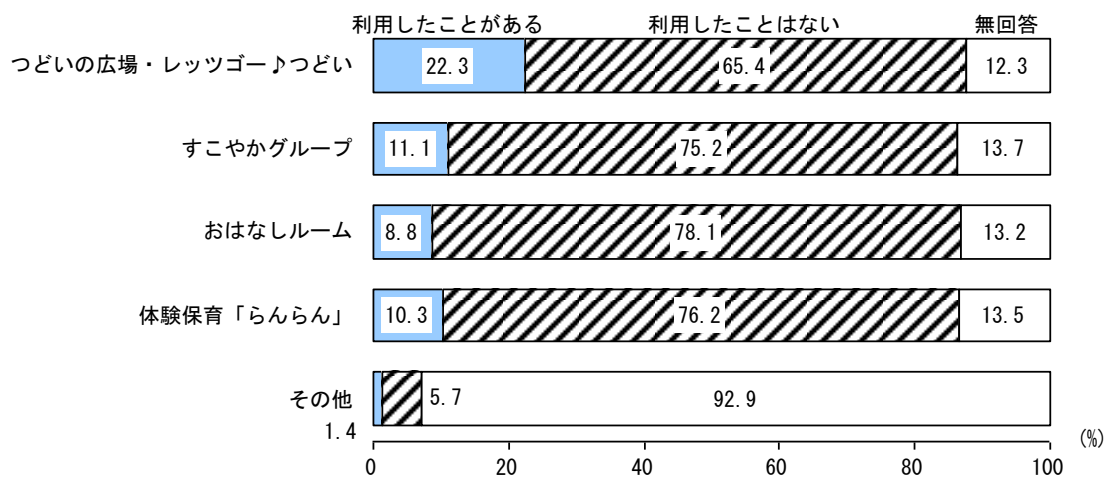


- 地域の子育て支援事業の認知度については、『おはなしルーム』『つどいの広場・レッツゴー♪つどい』『体験保育「らんらん」』が4割を超えている。
- 利用経験については、『つどいの広場・レッツゴー♪つどい』が最も高いが、それでも22.3%にとどまっている。
- 今後の利用希望については、「利用したい」は10%台後半から20%台にとどまっている。

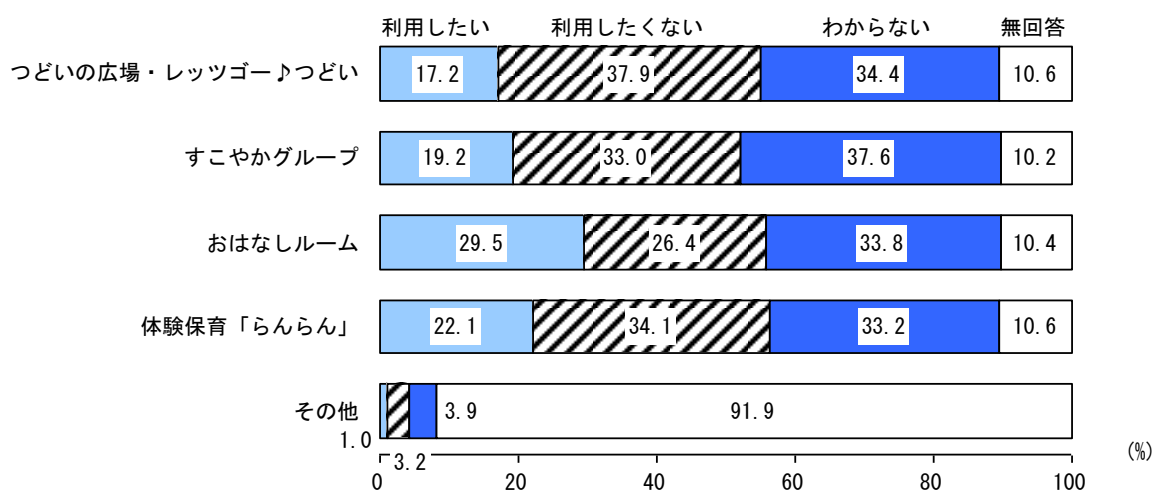
【地域の子育て支援事業の認知度（就学前児童保護者）】



【地域の子育て支援事業の利用経験（就学前児童保護者）】



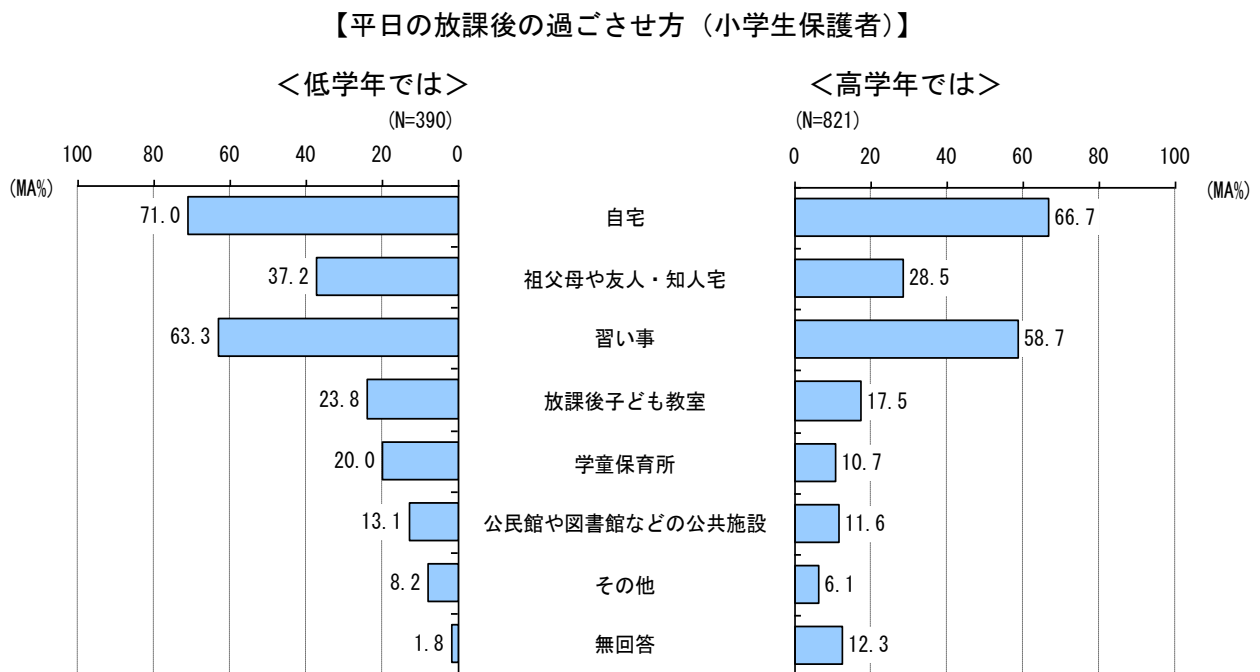
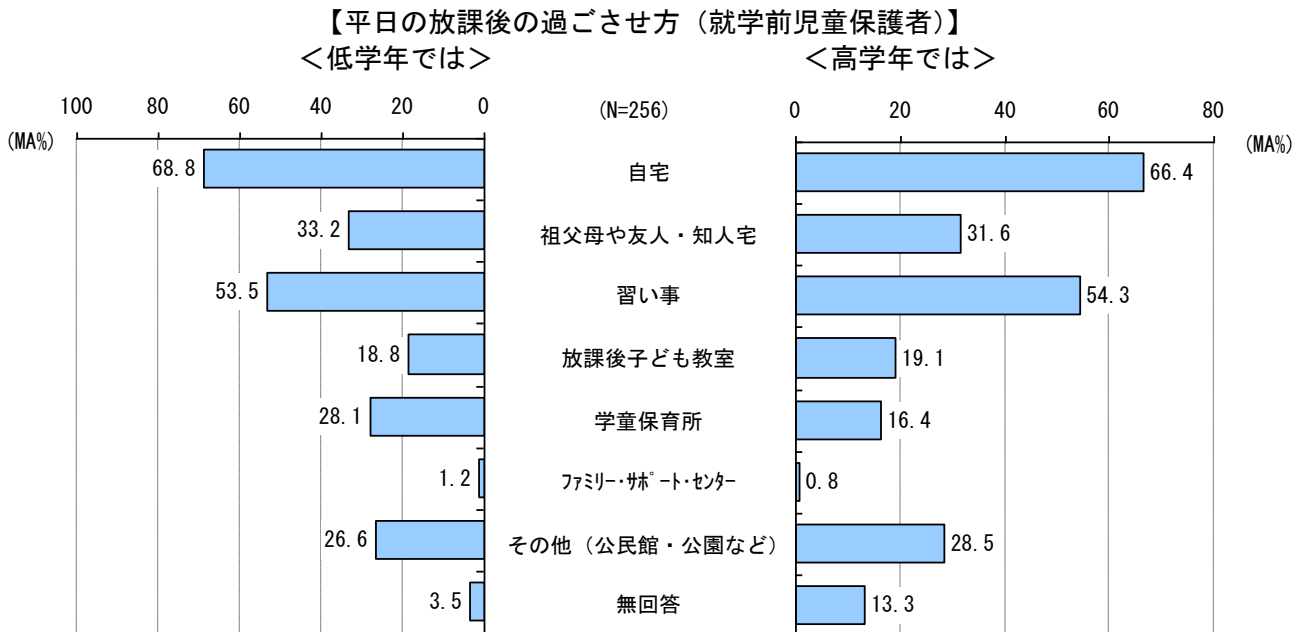
【地域の子育て支援事業の利用希望（就学前児童保護者）】



6 放課後や休日の過ごし方について

(1) 放課後の過ごし方（就学前：問 20、小学生：問 23・問 24）

- 放課後の過ごし方について保護者の希望をみると、就学前児童保護者・小学生保護者ともに低学年・高学年いずれも「自宅」が最も多く、次いで「習い事」となっている。



※低学年での過ごし方については、回答は低学年の保護者のみ

【平日の放課後を過ごさせたい内容別 日数】

(単位：Nは人、他は%)

＜就学前児童保護者＞低学年では

	N	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	平均(日/週)
自宅	152	1.3	15.1	19.7	14.5	31.6	1.3	16.4	-	4.3
祖父母宅や友人・知人宅	64	45.3	34.4	12.5	3.1	3.1	-	1.6	-	2.1
習い事	124	31.5	50.8	16.1	1.6	-	-	-	-	1.9
学童保育所	41	-	14.6	14.6	7.3	53.7	9.8	-	-	4.3
ファミリー・サポート・センター	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0
その他	68	-	-	-	-	-	-	-	100.0	2.6

	N	月1日	月2日	月3日	月4日以上	無回答	平均(日/月)
放課後子ども教室	43	55.8	20.9	9.3	14.0	-	2.1

＜就学前児童保護者＞高学年では

	N	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	平均(日/週)
自宅	256	2.3	14.5	13.3	5.5	22.3	1.2	7.4	33.6	4.0
祖父母宅や友人・知人宅	81	33.3	30.9	18.5	6.2	8.6	-	2.5	-	2.4
習い事	139	9.4	48.9	30.2	10.1	1.4	-	-	-	2.5
学童保育所	42	-	16.7	35.7	4.8	35.7	7.1	-	-	3.8
ファミリー・サポート・センター	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0
その他	73	-	-	-	-	-	-	-	100.0	2.6

	N	月1日	月2日	月3日	月4日以上	無回答	平均(日/月)
放課後子ども教室	49	49	22.4	2	26.5	-	2.4

＜小学生保護者＞低学年では

	N	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	平均(日/週)
自宅	277	13.4	18.8	21.3	9.7	24.5	1.8	4.7	5.8	3.4
祖父母宅や友人・知人宅	145	40.7	33.8	10.3	3.4	6.2	-	0.7	4.8	2.0
習い事	247	26.7	44.5	20.6	3.6	3.6	0.4	-	0.4	2.1
学童保育所	78	2.6	10.3	9.0	14.1	51.3	9.0	-	3.8	4.3
ファミリー・サポート・センター	51	62.7	15.7	9.8	-	2.0	-	2.0	7.8	1.6
その他	32	3.1	31.3	34.4	-	15.6	3.1	6.3	6.3	3.3

	N	月1日	月2日	月3日	月4日以上	無回答	平均(日/月)
放課後子ども教室	93	43.0	25.8	3.2	20.4	7.5	2.1

＜小学生保護者＞高学年では

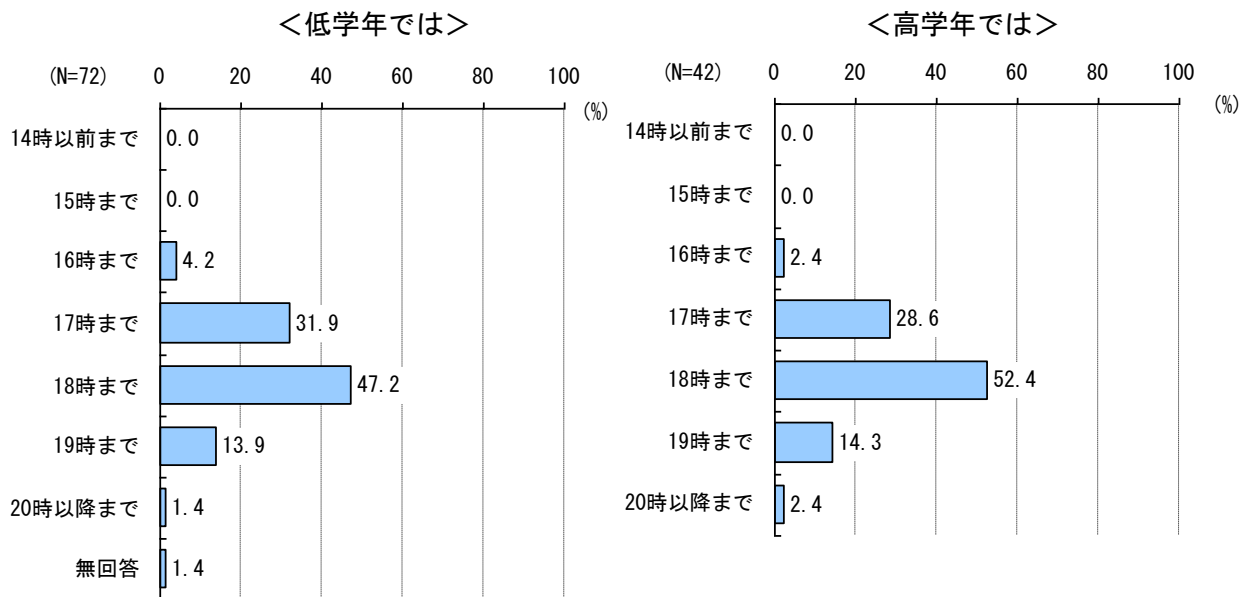
	N	週1日	週2日	週3日	週4日	週5日	週6日	週7日	無回答	平均(日/週)
自宅	548	13.5	21.7	20.4	7.7	22.4	1.8	5.8	6.6	3.4
祖父母宅や友人・知人宅	234	35.9	35.5	9.8	2.1	9.0	0.4	0.9	6.4	2.1
習い事	482	16.8	40.2	30.5	6.4	2.7	0.8	0.2	2.3	2.4
学童保育所	88	4.5	11.4	10.2	11.4	52.3	6.8	-	3.4	4.2
ファミリー・サポート・センター	95	67.4	17.9	6.3	-	-	-	-	8.4	1.3
その他	50	14.0	18.0	24.0	10.0	26.0	-	2.0	6.0	3.3

	N	月1日	月2日	月3日	月4日以上	無回答	平均(日/月)
放課後子ども教室	144	31.9	29.9	3.5	29.9	4.9	2.8

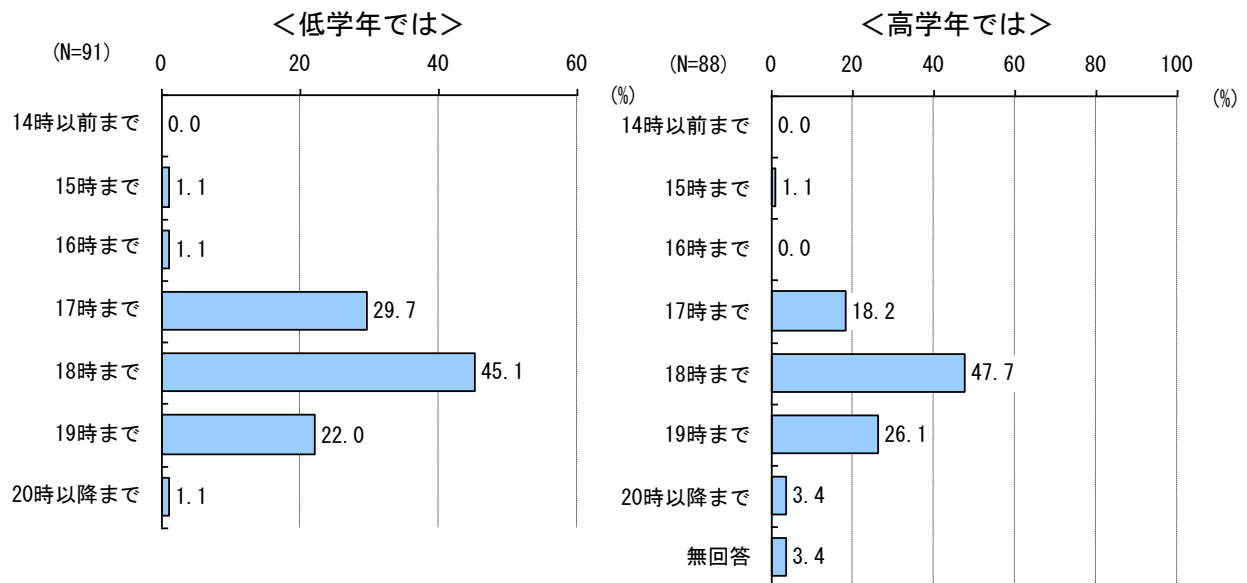
(2) 学童保育所の利用希望 (就学前：問 20、小学生：問 25)

- 学童保育所の希望は、就学前児童保護者調査では低学年で28.1%、高学年で16.4%、小学生保護者調査では低学年で20.0%、高学年で10.7%の希望がある。(22頁参照)
- 学童保育所を希望する保護者が希望する時間帯をみると、就学前児童保護者・小学生保護者ともに、低学年・高学年ともに「18時まで」が最も多い。
- 平日以外の学童保育所の利用希望をみると、『土曜日』と『日曜日・祝日』については、就学前児童保護者・小学生保護者ともに「利用する必要はない」が多数を占める。『夏休み・冬休み』については、就学前児童保護者で53.9%、小学生保護者で78.1%が「高学年になっても利用したい」としている。

【学童保育所の利用希望時間 (就学前児童保護者)】

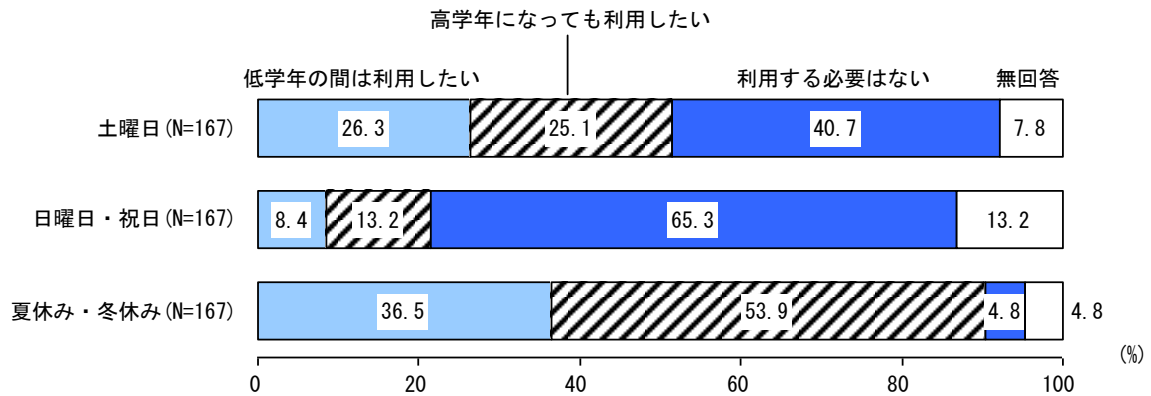


【学童保育所の利用希望時間 (小学生保護者)】



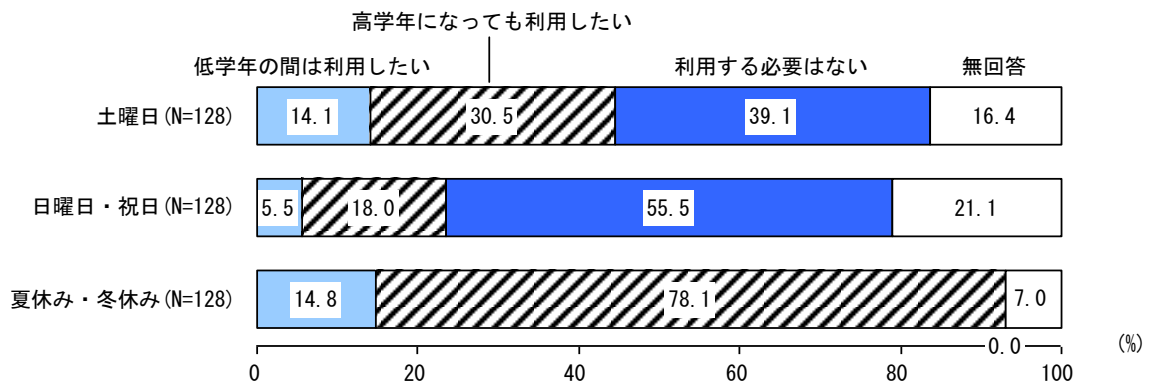
【学童保育所の土曜日、日曜・祝日、夏休み・冬休みの利用希望】

<就学前児童保護者>



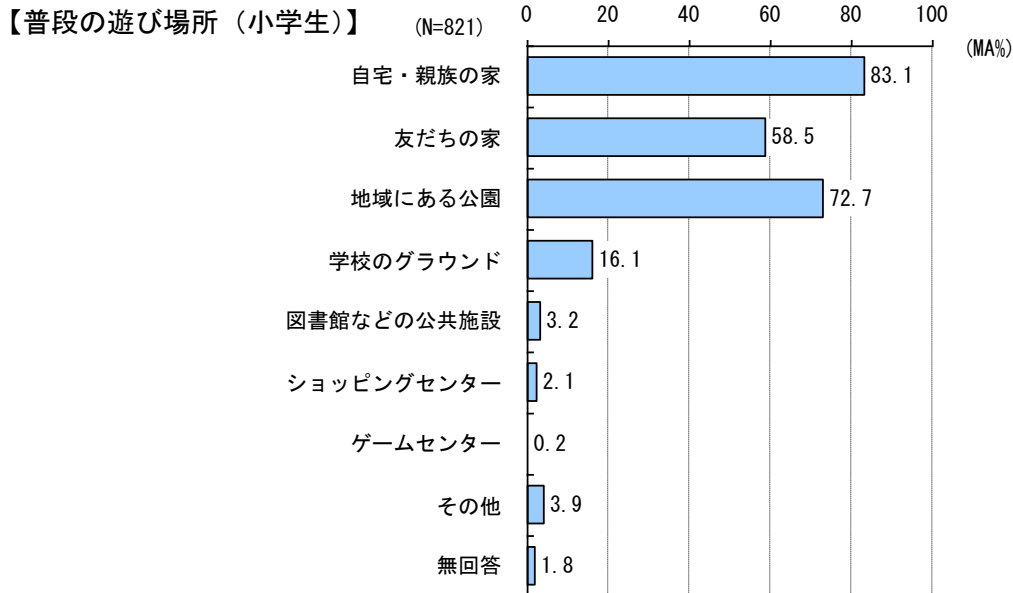
※回答は来年小学校に入学する児童の保護者のみ

<小学生保護者>

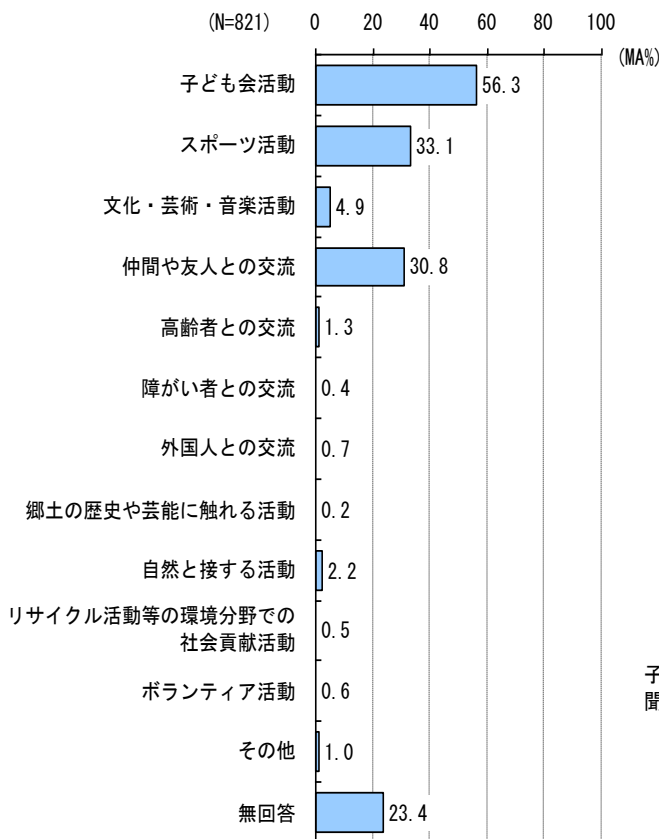


(3) 小学生の居場所 (小学生：問 26、問 27、問 28)

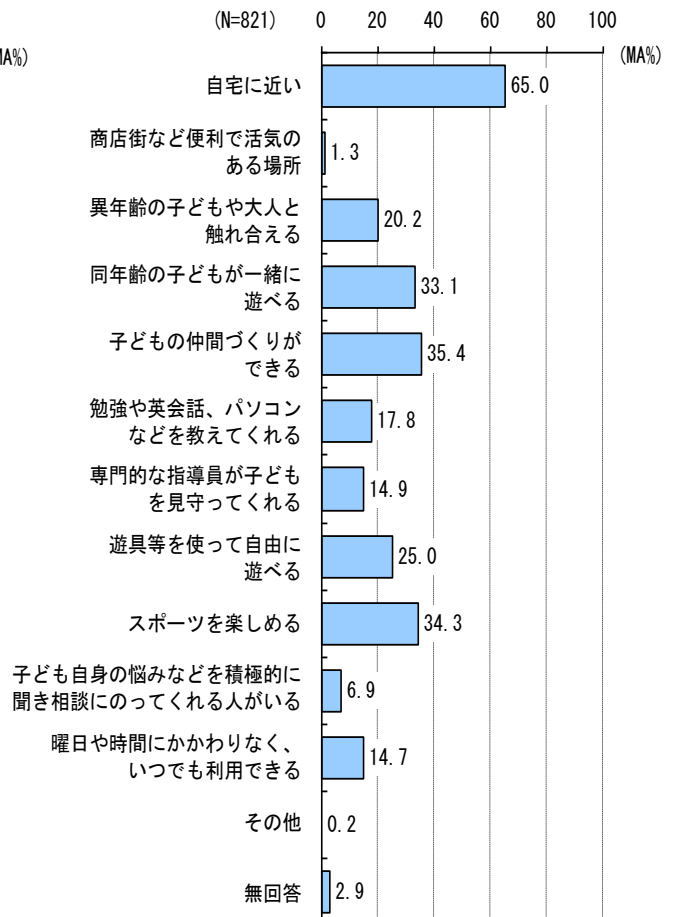
- 小学生の普段の遊び場をみると、「自宅・親族の家」が83.1%で最も多く、次いで「地域にある公園」が72.7%となっている。
- 小学生が参加している活動をみると、「子ども会活動」が56.3%で最も多い。
- 家庭以外の子どもの居場所に望むことをみると、「自宅に近い」が65.0%と多い。



【参加している活動 (小学生)】



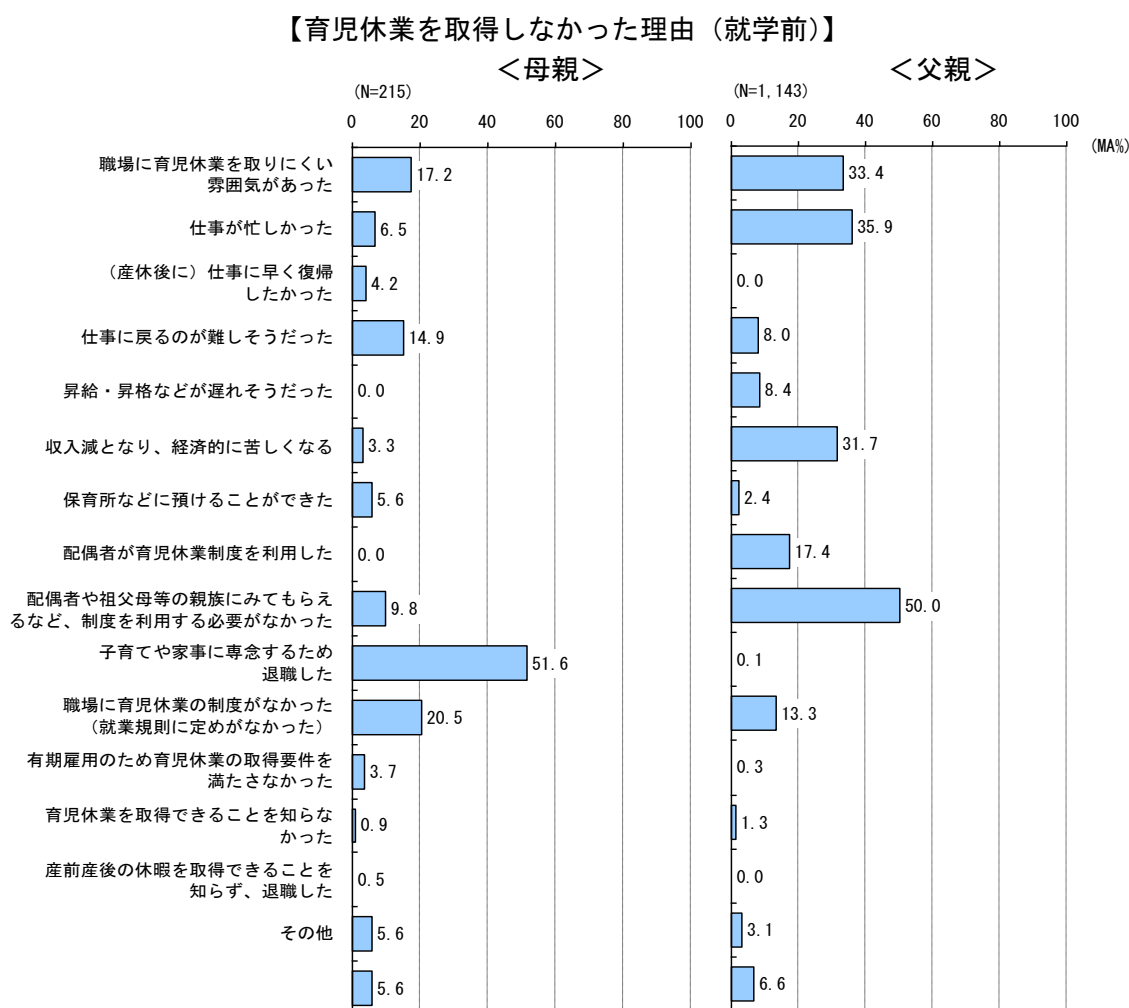
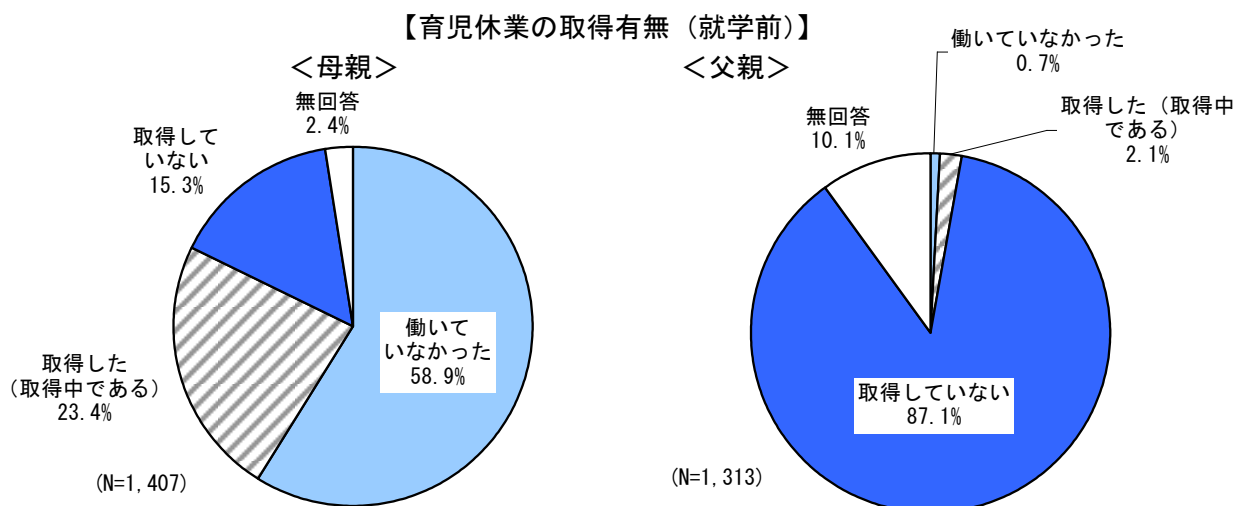
【家庭以外の居場所に望むこと (小学生保護者)】



7 子育てと職場の両立支援について（就学前保護者のみ）

（1）育児休業制度の取得状況（就学前：問 21）

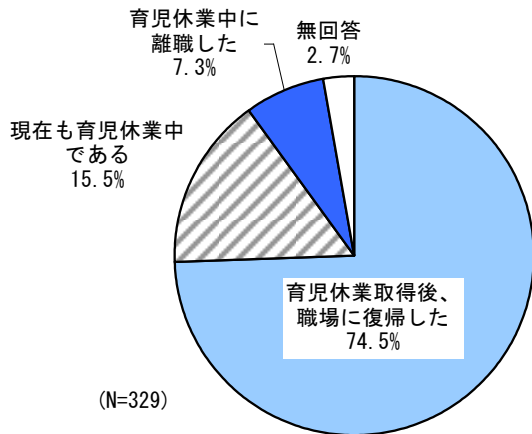
- 育児休業を取得したのは、母親では23.4%、父親は2.1%である。
- 育児休業を取得しなかった理由については、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」、父親では「配偶者や祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が多い。



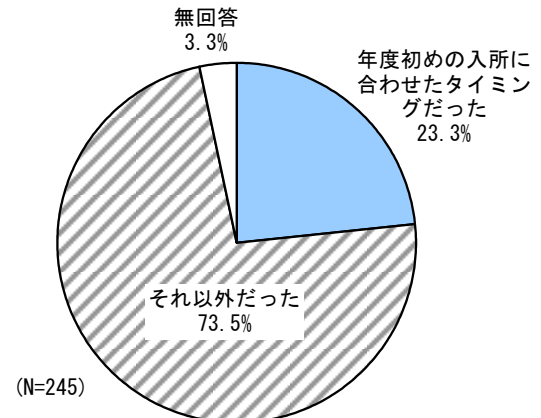
(2) 母親の育児休業からの復帰について（就学前：問 21-1、問 21-2）

- 育児休業を取得した母親の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が74.5%と多い。また、「育児休業中に離職した」は7.3%である。
- 職場復帰が「年度初めの保育所入所に合わせたタイミングだった」のは23.3%である。
- 短時間勤務制度については、「利用しなかった」が59.2%と多い。
- 1歳になったときに利用できる事業がかならずある場合には、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が92.2%を占めている。

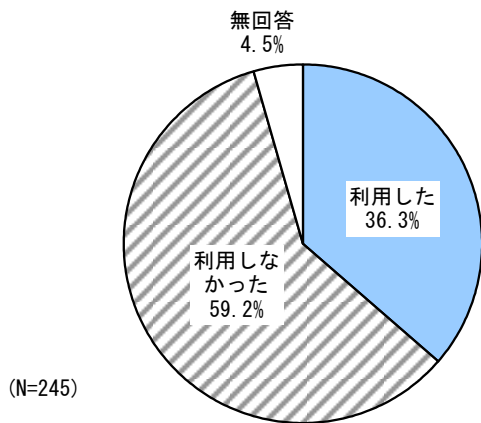
【育児休業取得者の復帰状況（母親）（就学前）】



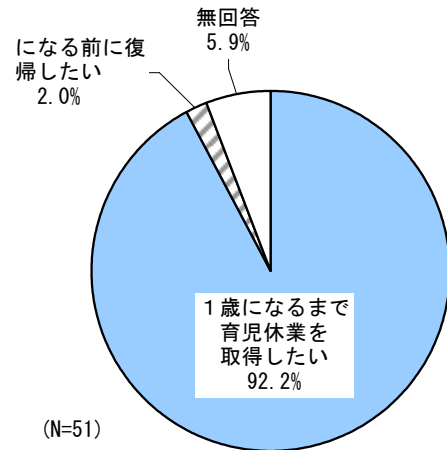
【育児休業取得後の職場復帰と保育所入所のタイミング（母親）（就学前）】



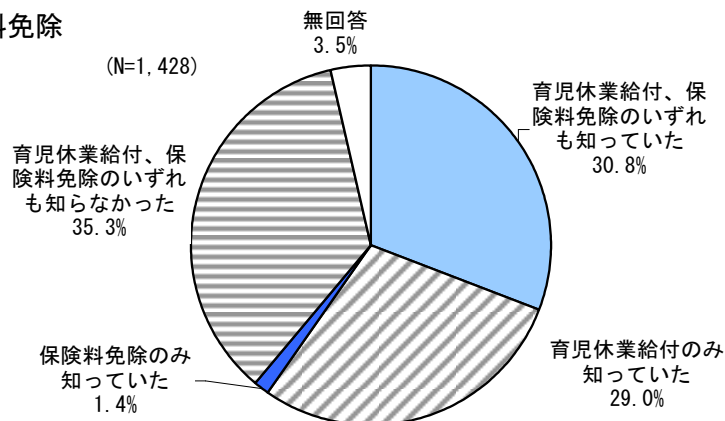
【育児休業から職場復帰後の短時間勤務制度の利用有無（母親）（就学前）】



【1歳になったとき必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得（育児休業中の母親）（就学前）】



【育児休業給付の支給や保険料免除の仕組みの認知状況】

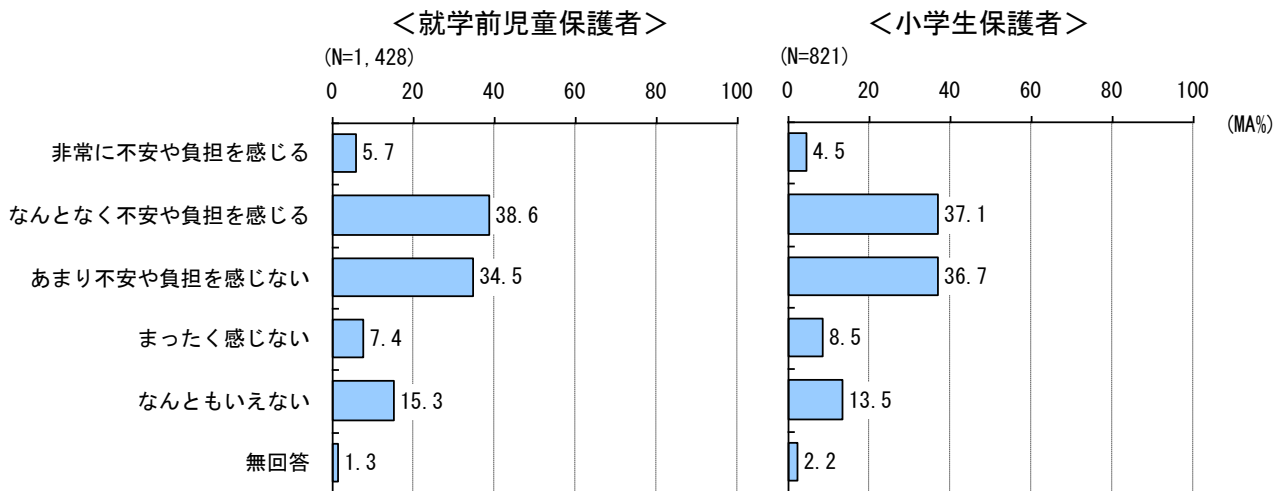


8 子育て全般について

(1) 子育て観（就学前：問 24、小学生：問 29）

- 子育てに関する負担や不安については、就学前児童保護者・小学生保護者ともに「なんとなく不安や負担を感じる」と「あまり不安や負担を感じない」が拮抗して多い。

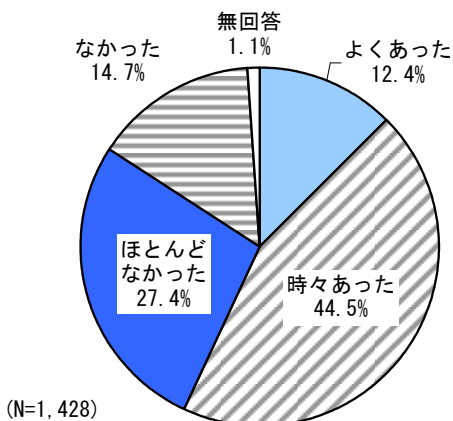
【子育てに関する不安や負担】



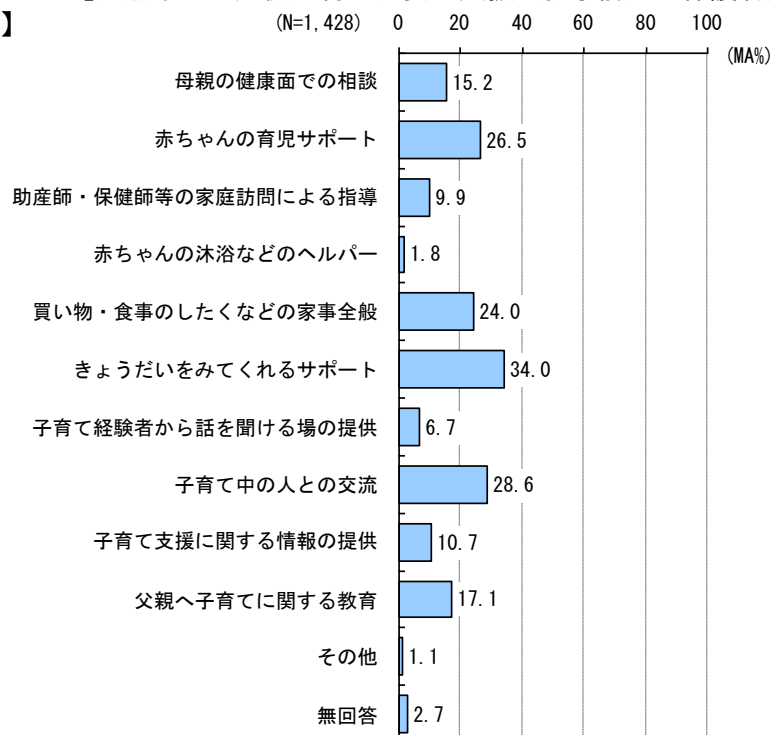
(2) 妊娠中等の支援（就学前：問 25・問 26）

- 妊娠中・出産後に精神的に不安定になったことがある人（よくあった+時々あった）は56.9%と半数を超えている。
- 妊娠中・出産後に特に必要だと思う支援については、「きょうだいを見てくれるサポート」「子育て中の人との交流」などが多い。

【妊娠中・出産後に精神的に不安定になったこと（就学前児童保護者）】

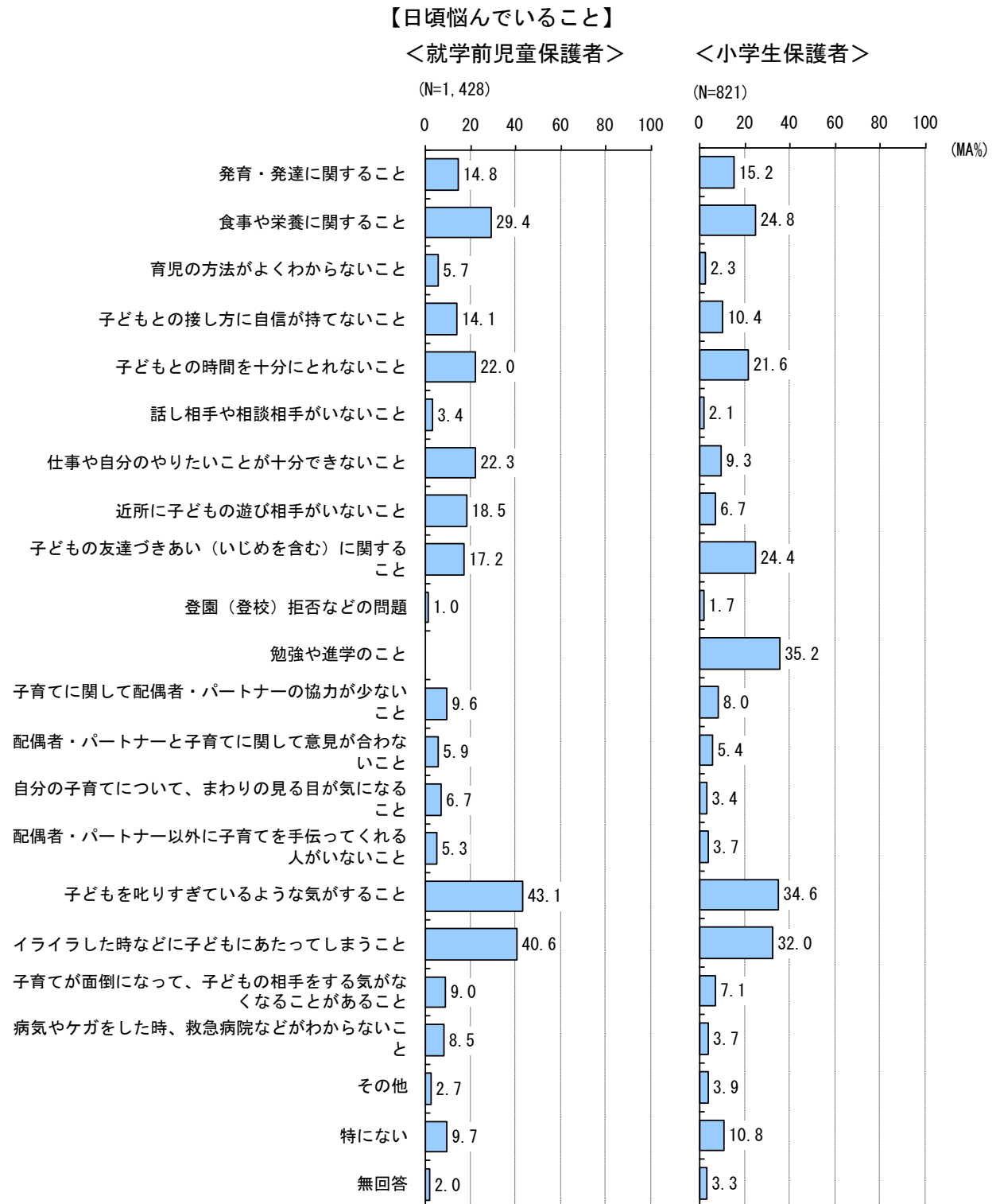


【妊娠中・出産後に特に必要な支援（就学前児童保護者）】

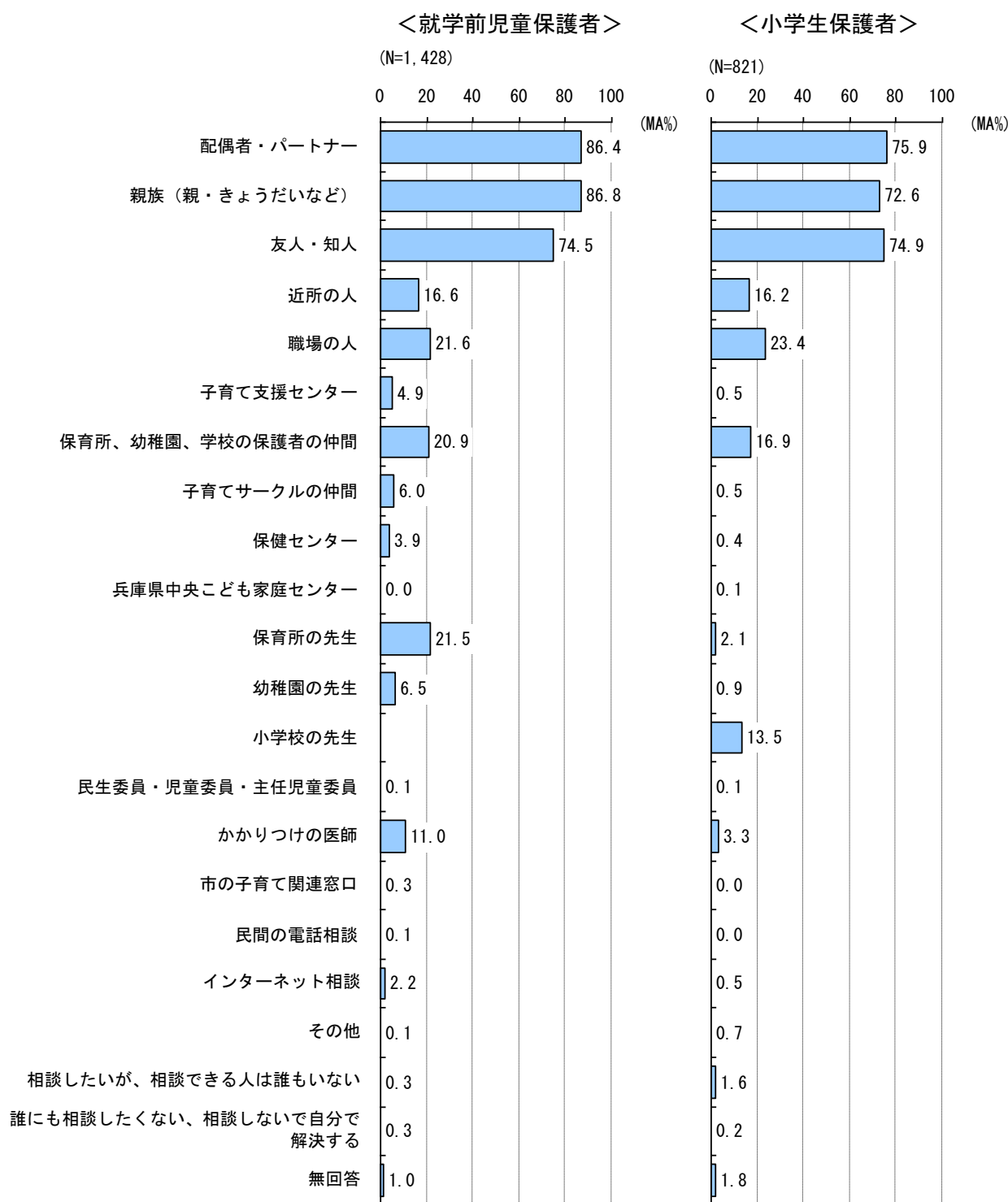


(3) 日頃の悩みと相談相手 (就学前：問 27・問 28、小学生：問 30・問 31)

- 日頃悩んでいることについては、就学前児童保護者では「子どもを叱りすぎているような気がする」「イライラした時などに子どもにあたってしまうこと」が多い。小学生保護者でも「勉強や進学のこと」が最も多いが、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」「イライラした時などに子どもにあたってしまうこと」となっている。
- 相談相手についてみると、就学前児童保護者・小学生保護者ともに「配偶者・パートナー」「親族」「友人・知人」が多い。



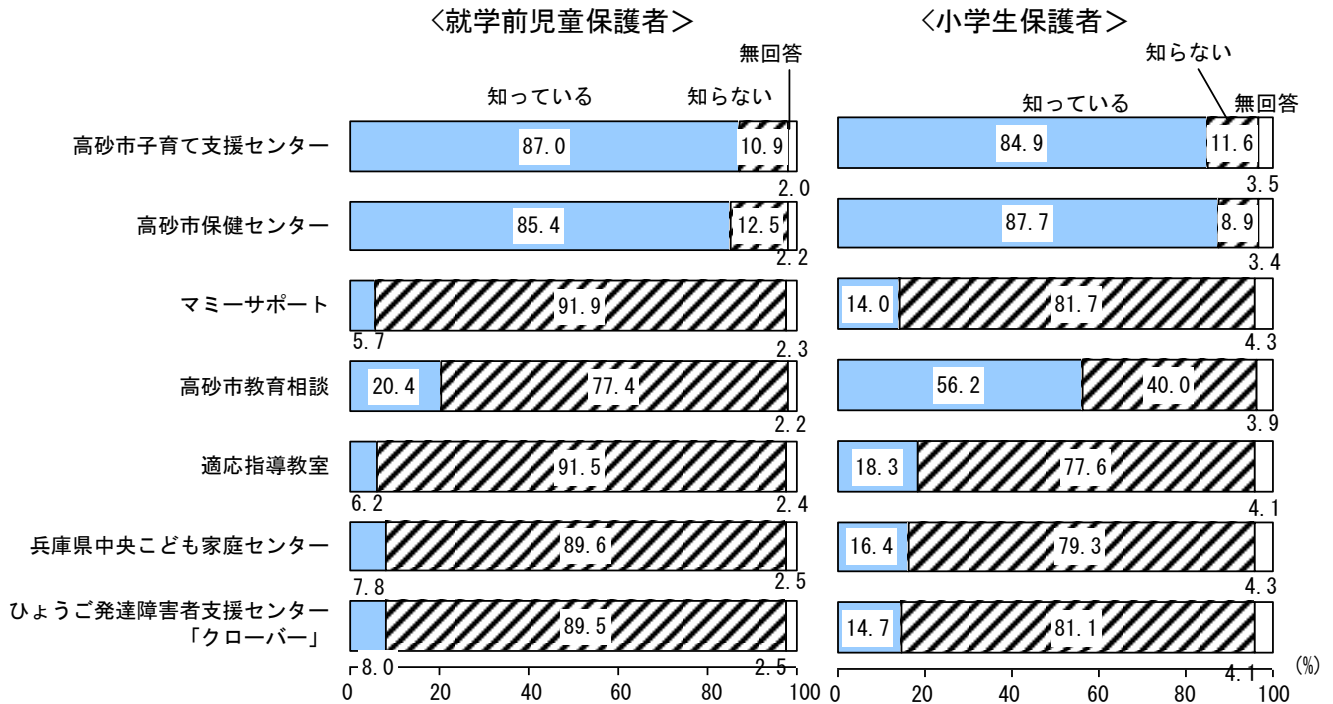
【子育て（教育を含む）に関する相談相手】



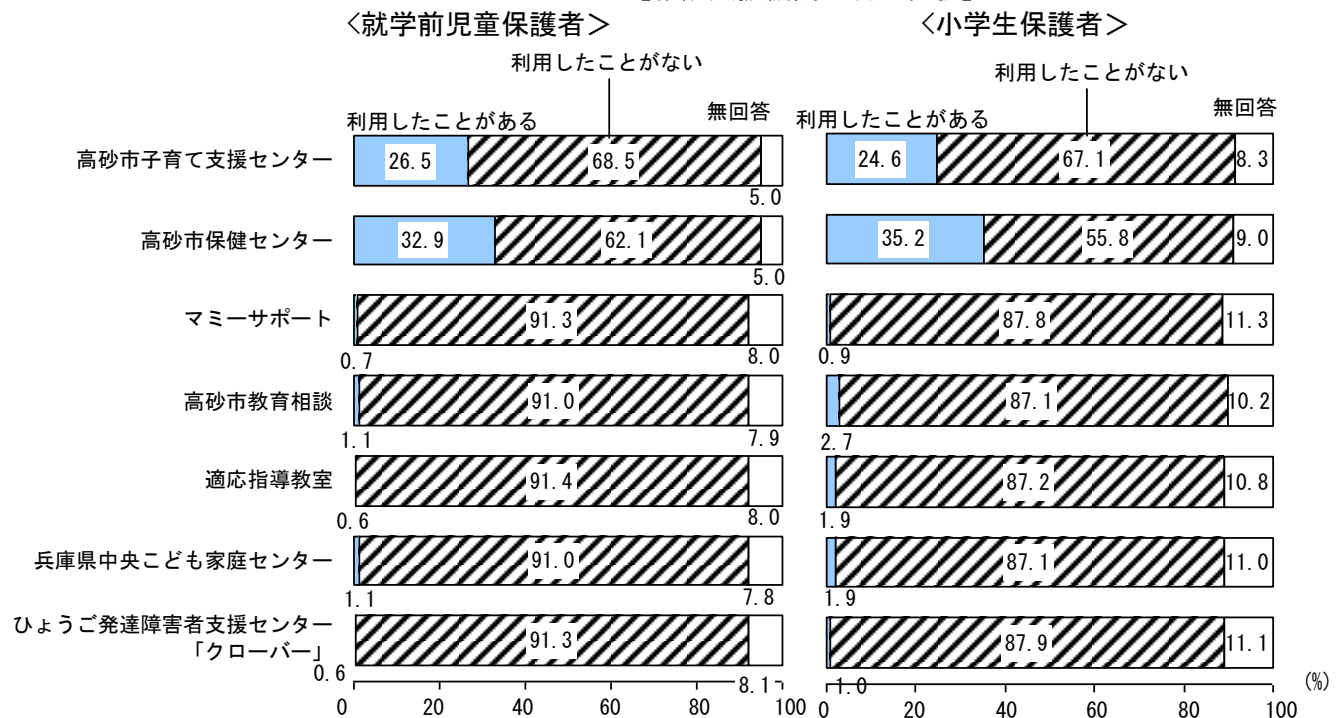
(4) 相談支援機関の認知と利用経験（就学前：問 29、小学生：問 32）

- 県や市の相談機関の認知度については、「高砂市子育て支援センター」と「高砂市保健センター」の認知度は高く、次いで「高砂市教育相談」についても小学生保護者では5割以上が認知しているが、他の機関・窓口の認知度は10%台までとなっている。
- 相談機関の利用については、「高砂市子育て支援センター」と「高砂市保健センター」は2～3割強が利用したことがあるが、他の機関は割合が低い。

【相談支援機関の認知状況】



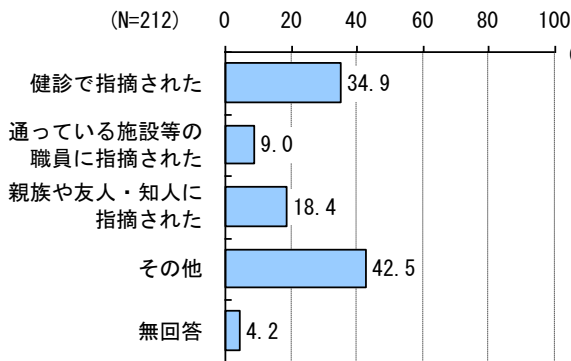
【相談支援機関の利用経験】



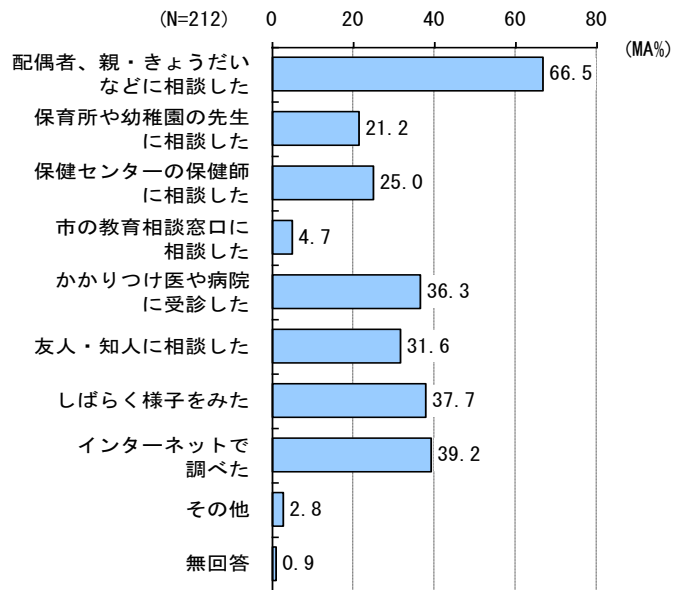
(5) 子どもの発育・発達について（就学前：問 27-1・問 27-2・問 31、小学生：問 33）

- 子どもの発育・発達に関する悩みがあるのは、就学前児童保護者で14.8%、小学生保護者で15.2%であるが（30頁参照）、気になったきっかけは「健診で指摘された」が多く、その時の行動としては「配偶者、親・兄弟などに相談した」が最も多い。
- 子どもに発達の遅れや障がいがあった場合に力を入れてほしいことについては、就学前児童保護者・小学生保護者ともに「発達の遅れや障がいの程度に応じ、十分な教育が受けられる障がい児教育を充実する」が最も多い。

【子どもの発達・発育で気になったきっかけ（就学前）】



【その時の行動（就学前）】



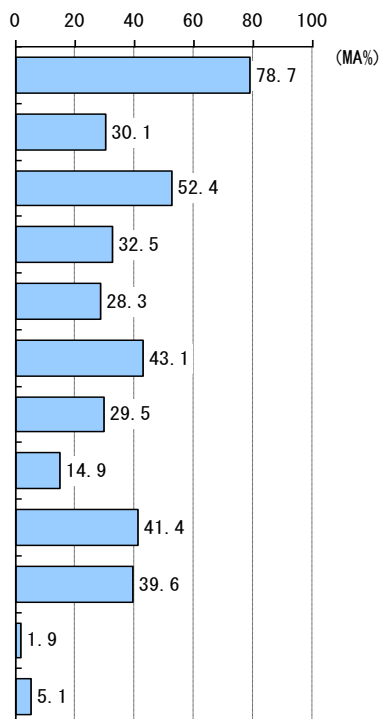
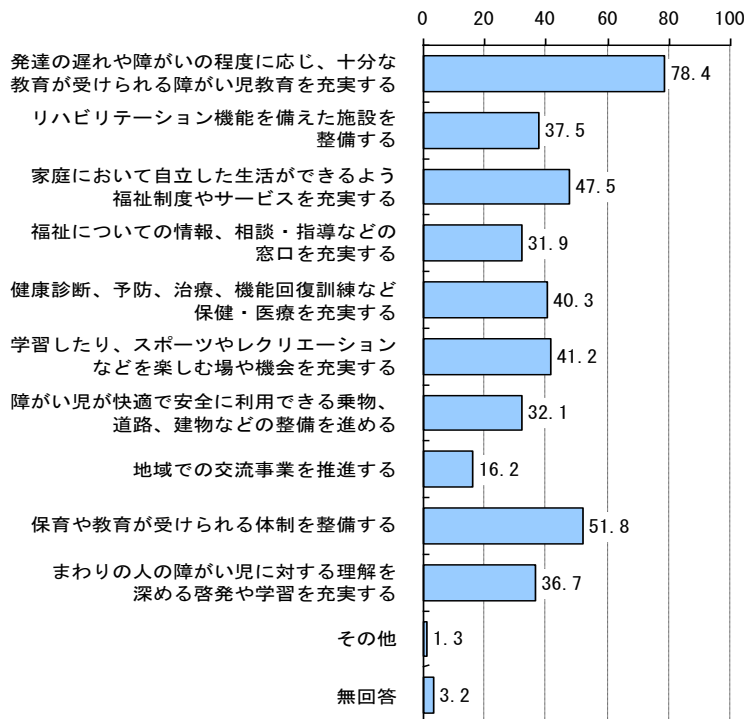
【子どもに発達の遅れや障がいがあった場合に力を入れてほしいこと】

<就学前児童保護者>

(N=1,428)

<小学生保護者>

(N=821)

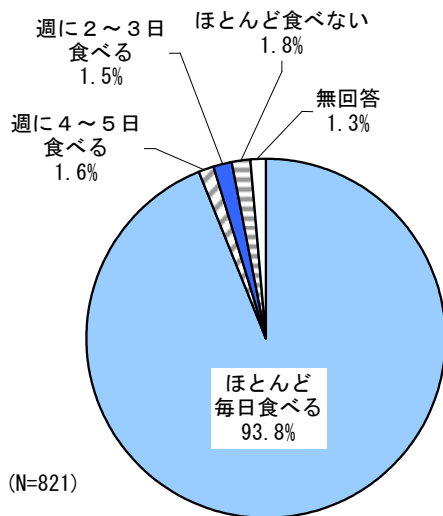


9 小学生のふだんの様子（小学生保護者のみ）

（1）食生活・運動（小学生：問10～問13）

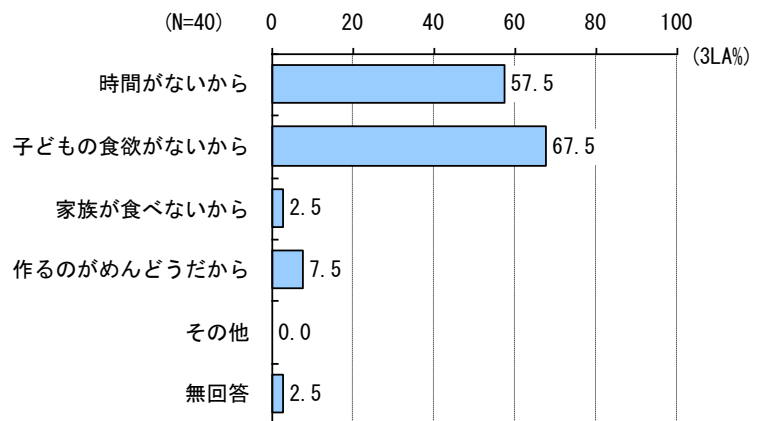
- 朝食については「ほとんど毎日食べる」が93.8%を占める。
- 朝食を毎日食べない理由は、「子どもの食欲がないから」が67.5%と多い。
- 夕食をひとりで食べることは、合わせると4.5%となっている。
- 食生活で不安に思うことについては、「栄養のバランス」が45.9%で最も多く、次いで「特に不安に思うことはない」41.9%となっている。
- 授業以外で1日に30分以上の運動を週に5日以上行っている小学生は32.6%である。

【朝食の摂取状況（小学生）】

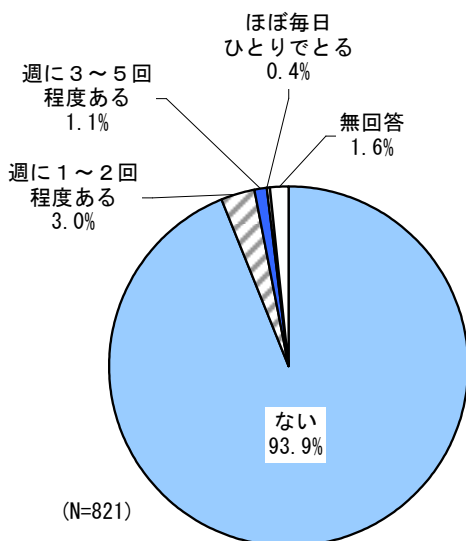


【朝食を毎日食べない理由（小学生）】

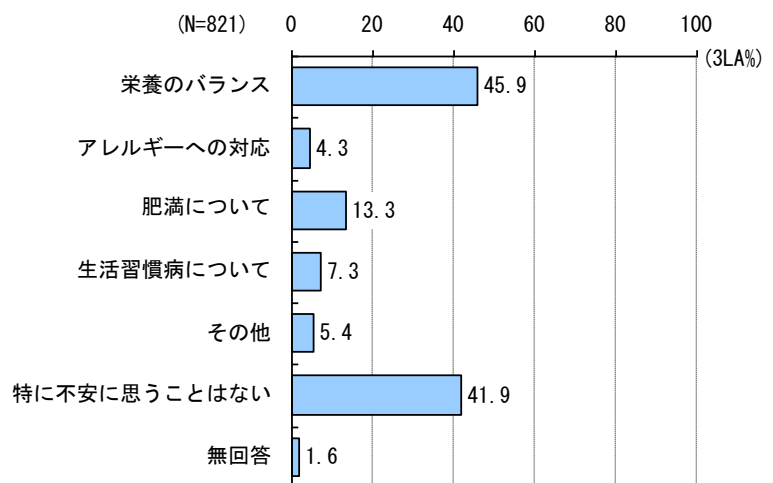
（「毎日食べる」以外を選んだ人のみ）



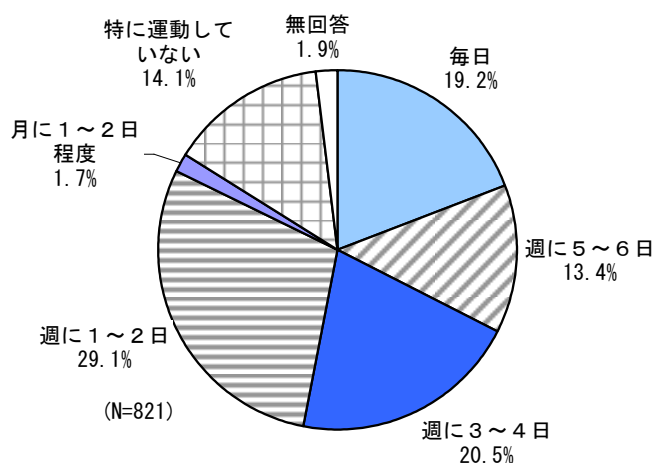
【夕食をひとりで食べること（小学生）】



【食生活で不安に思うこと（小学生保護者）】



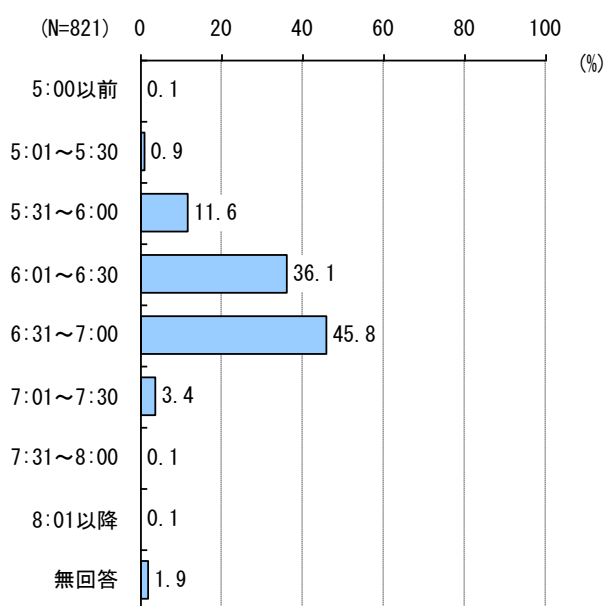
【授業以外で1日30分以上の運動をする頻度（小学生）】



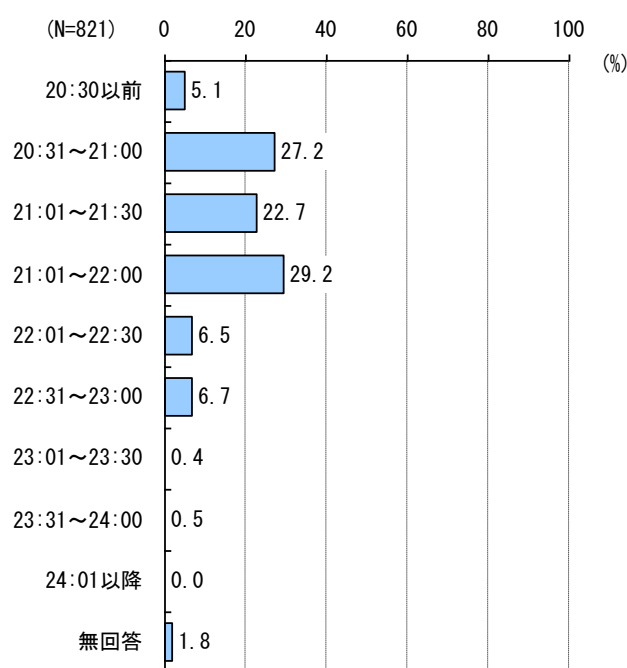
(2) 子どもの休養・こころの様子（小学生：問14～問18）

- 起床時刻は6：01～7：00が多く、就寝時刻は20：30～22：00が多い。
- テレビ（インターネット接続を含む）を見る時間は「1～2時間未満」、ゲーム（ネットゲームを含む）をする時間は「30分～1時間未満」が最も多い。
- イライラしたりふさぎこんだりすることが「ときどきある」が56.3%で、「よくある」7.4%を合わせると6割を超えている。
- 「学校へ行きたくない」や「学校を休みたい」と言うことが『ある』のは2割強となっている（「ときどきある」と「よくある」の合計）。

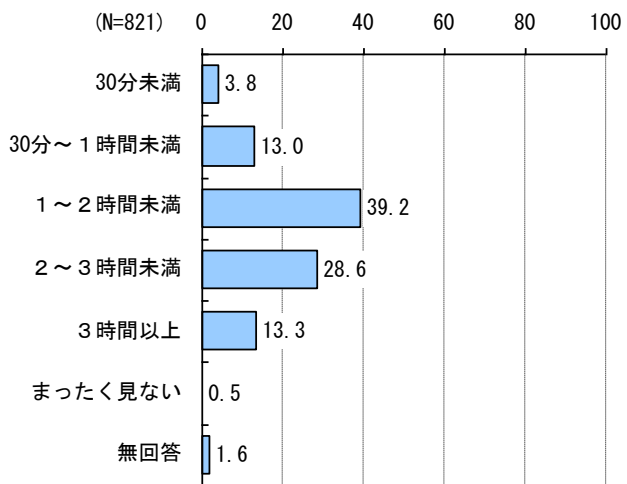
【子どもの起床時刻（小学生）】



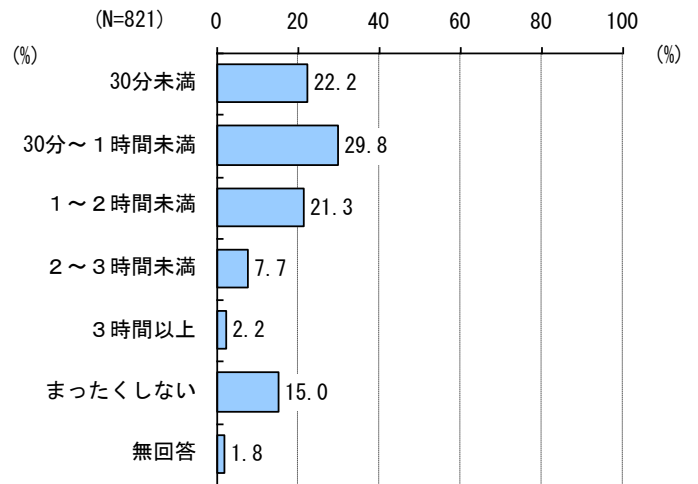
【子どもの就寝時刻（小学生）】



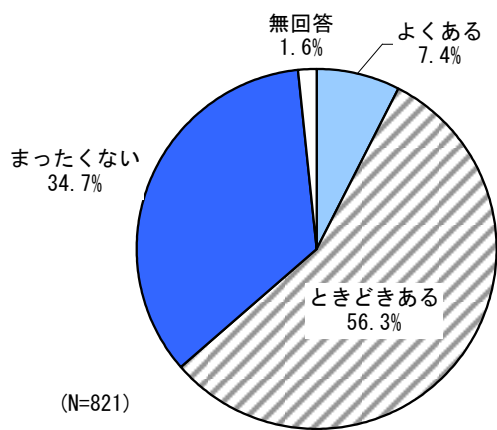
【テレビの視聴時間（小学生）】



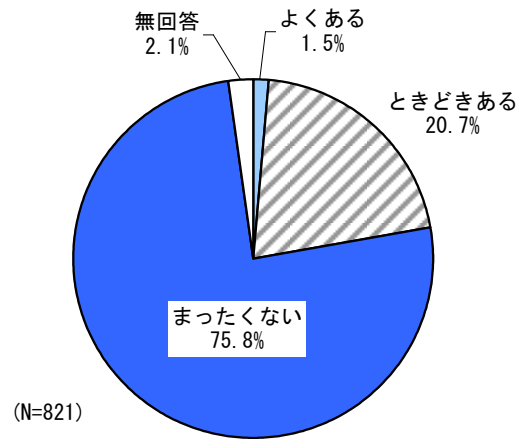
【ゲームで遊ぶ時間（小学生）】



【イライラしたりふさぎ込んだりすること（小学生）】



【「学校へ行きたくない・休みたい」などと言うこと（小学生）】

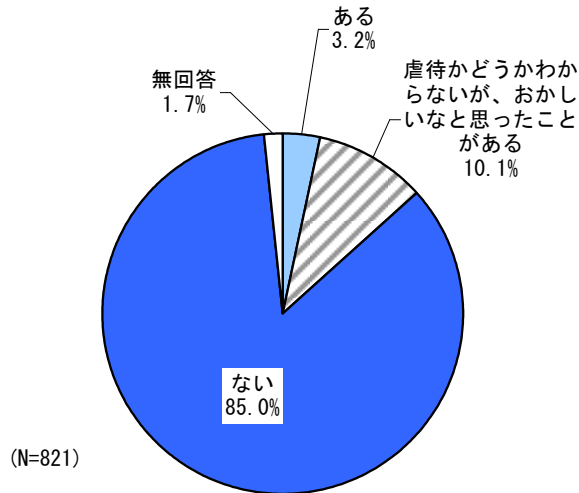


10 児童虐待や防犯について（小学生保護者のみ）

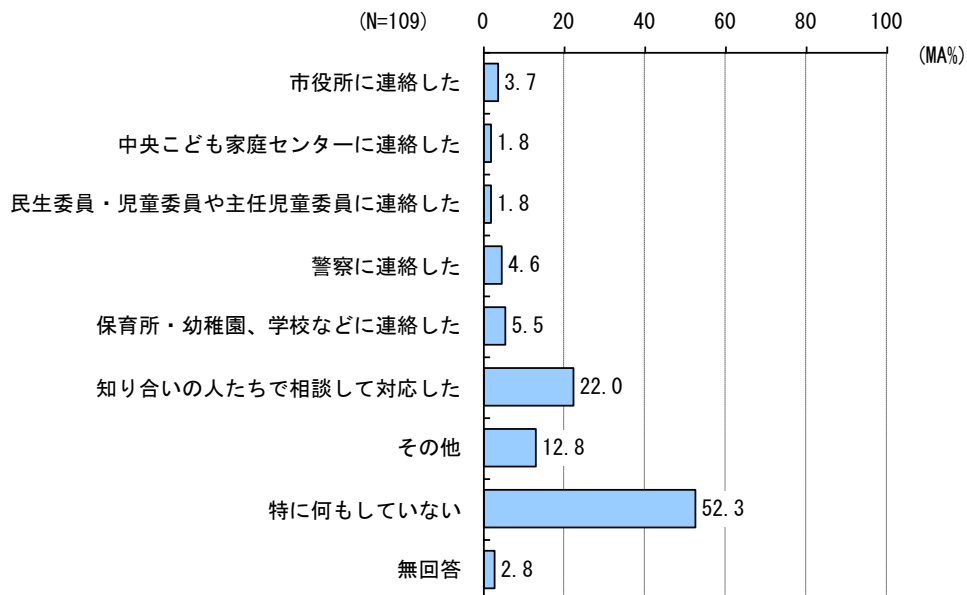
（1）子どもの虐待の見聞と対応（小学生：問 19・問 19-1）

- 子どもの虐待を見聞したことが「ある」は3.2%と少数だが、「虐待かどうか分からないが、おかしいなと思ったことがある」を合わせると1割を超えている。
- 虐待を見聞したときの対応については、「特に何もしていない」が52.3%と多数を占めている。

【子どもの虐待を見聞した経験（小学生保護者）】



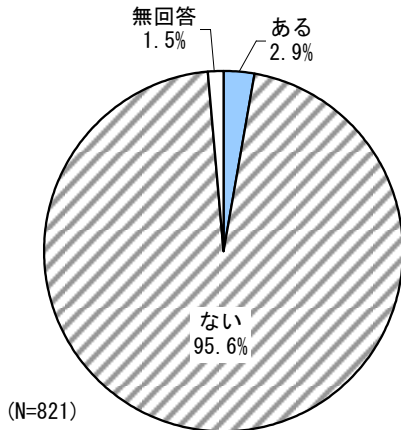
【その時の対応（小学生保護者）】



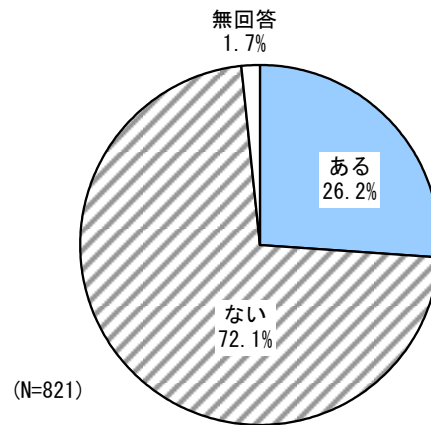
(2) 子どもの安全について (小学生：問 20~22)

- 子どもがチカン・不審者などの被害にあったことが「ある」のは2.9%である。
- チカン・不審者などの被害の話聞いたことが「ある」のは26.2%と4人に1人となっている。
- 子どもの安全を守るために特に重要と思われることについては、「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取り組み」が58.3%で最も多いが、いずれの事項についてもニーズは比較的高い。

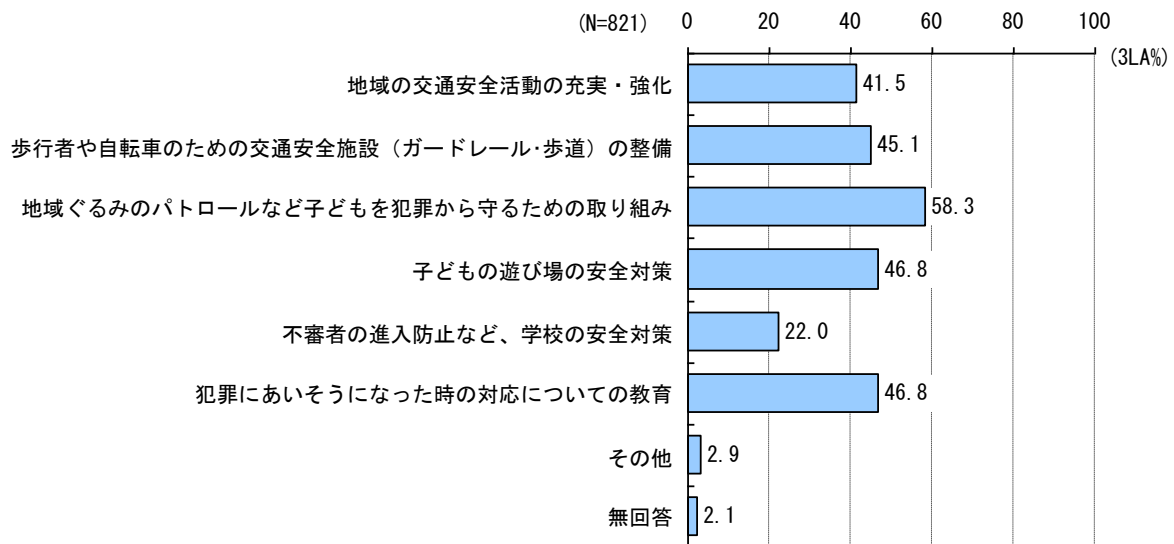
【子どもがチカン・不審者などの被害にあった経験 (小学生保護者)】



【チカン・不審者などの被害の話聞いたこと (小学生保護者)】



【子どもの安全を守るために特に重要と思われること (小学生保護者)】

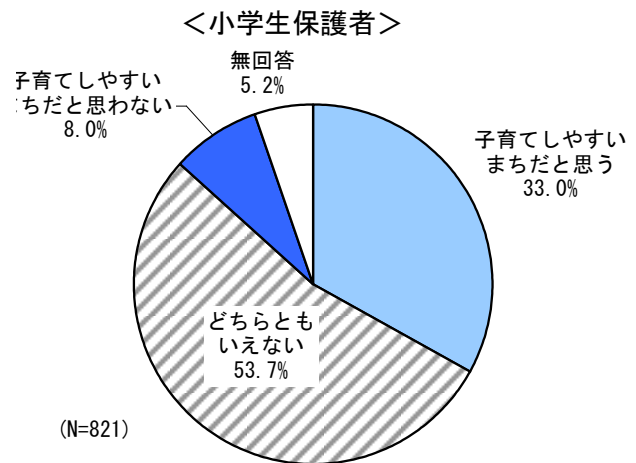
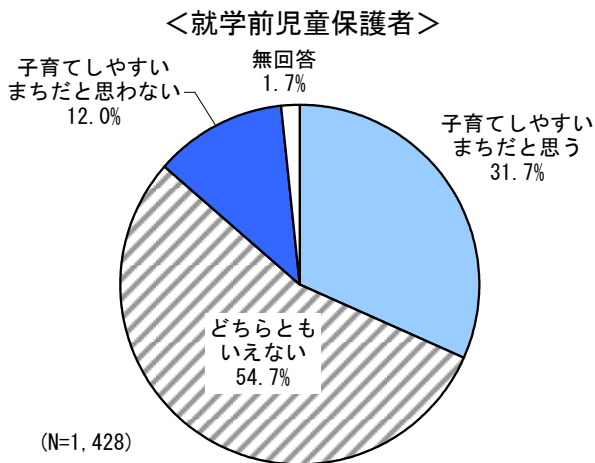


11 高砂市の子育て環境の評価と行政への要望

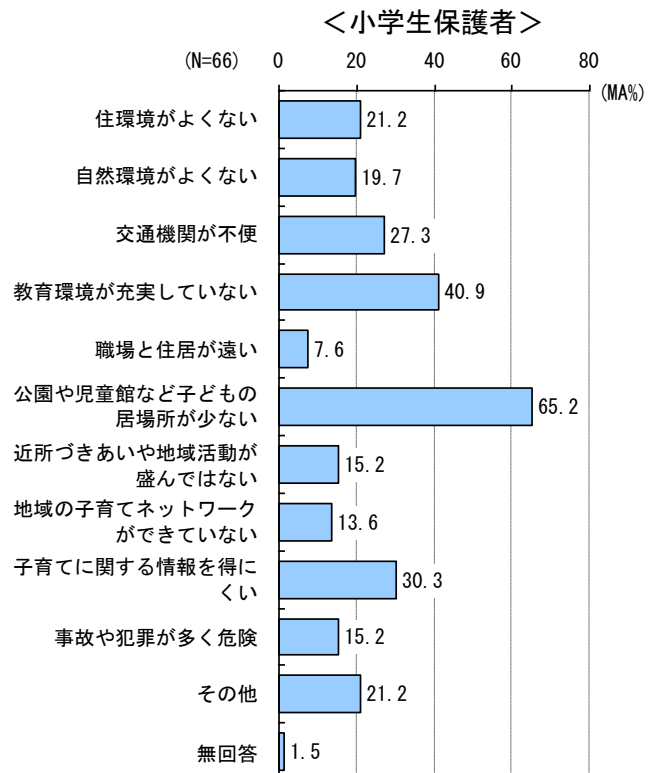
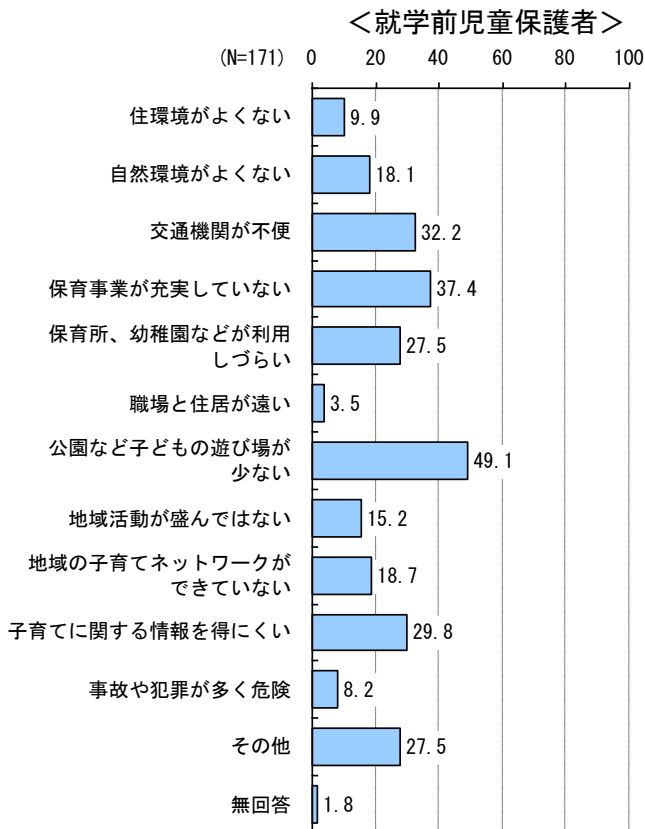
(1) 子どもの育てやすさ（就学前：問 36・問 36-1、小学生：問 37・問 37-1）

- 就学前・小学生ともに全体の約3割が、「子育てしやすいまちだと思う」と回答している。
- 子育てしやすいまちだと思わない人について理由をみると、就学前児童保護者では「公園など子どもの遊び場が少ない」、小学生児童保護者では「公園や児童館など子どもの居場所が少ない」が最も多い。

【高砂市は子育てしやすいまちだと思うか】



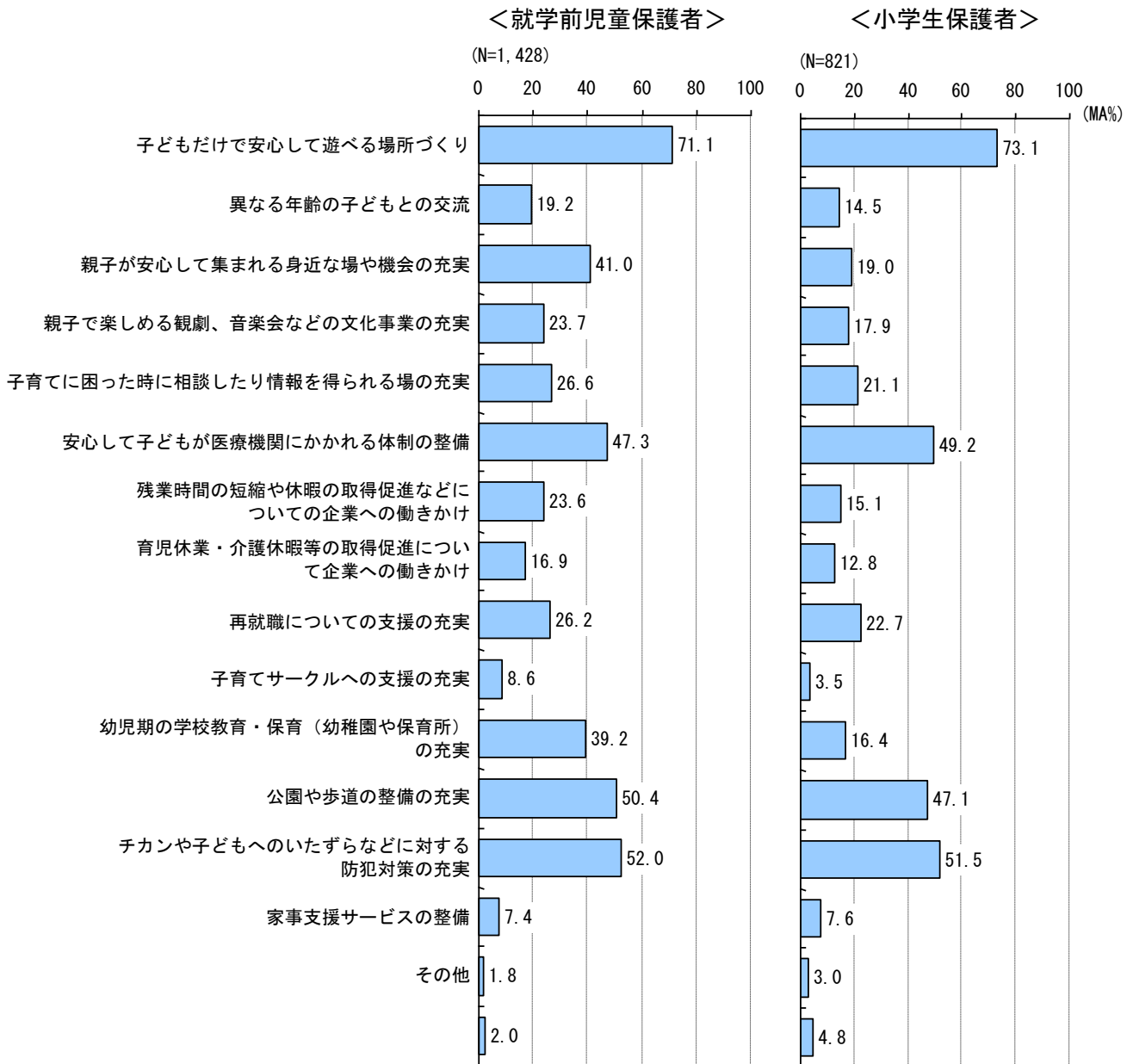
【子育てしやすいまちだと思わない理由】



(2) 力を入れてほしい子育て支援施策（就学前：問 39、小学生：問 38）

- もっと力を入れてほしい子育て支援施策については、就学前児童保護者・小学生保護者ともに「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」が最も多い。
- 全体的にみれば、子どもの遊び場、チカン等に対する防犯体制、公園や歩道の整備、子どもの医療体制についてのニーズが高い。

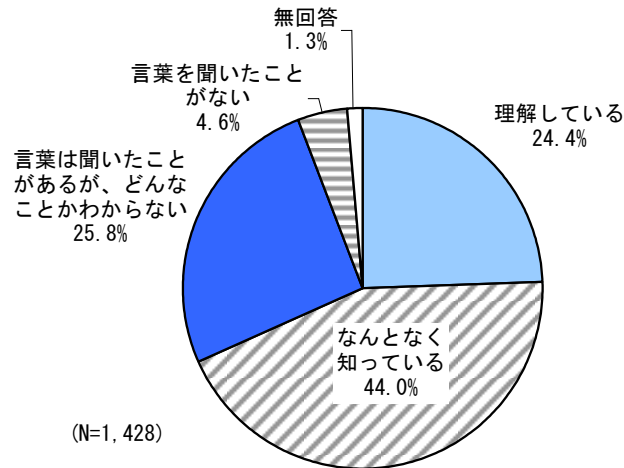
【もっと力を入れてほしい子育て支援】



(3) 幼稚園・保育所の一体化について（就学前：問37・問38）

- 高砂市が推進している「幼保一体化」については、「なんとなく知っている」が44.0%で最も多い。「言葉は聞いたことがあるが、どんなことかわからない」と「言葉を聞いたことがない」を合わせると約3割となっている。
- 「幼保一体化」の推進については、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた賛成派が47.5%に対して、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた反対派が15.0%である。

【「幼保一体化」の認知度（就学前児童保護者）】



【高砂市の幼保一体化の推進について（就学前児童保護者）】

